

小山市 生井地区

「持続可能なまちづくり」に向けたアンケート 集計結果 報告

2021/R3年度 8月配布 9月回収にて実施

577世帯中 404通（70%）の回答を得た。詳細は P8

1：P1 依頼書

2：P2 質問表

3：P8 単純集計結果および自由記述

4：P31 属性ごとの相関集計結果

総合政策部自然共生課

実施/集計 有限責任事業組合 風景社

生井地区「持続可能なまちづくり」に向けたアンケート 担当：小山市自然共生課

生井地区の皆さまへ：アンケートご回答のお願い

小山市では、生井地区に代表されるような自然環境が豊かな田園地帯と、JR 小山駅周辺などの都市部とが、より良い関係性を結びながら調和がとれた姿で将来世代に負担を残さない持続的なまちづくりを目指して、「田園環境都市 小山」がどうあるべきか、これから市民の皆様とともに考えていきます。そのための先行調査として、生井地区の皆様のお考えを聞かせていただきたく、アンケートを実施することになりました。

アンケート結果については、12 月に予定されている「第 20 回全国菜の花サミット in 小山」にて、持続可能なまちづくりに向けての生井地区調査の中間報告として発表します。また、来年度以降のまちづくり事業へ繋いでいきます。

下記の要領で、ご協力をお願い致します。

◎回答方法

- 質問は、大問で【7】まであります。
- 該当する選択肢に○をつけ、記述欄があるものは、自由にご記入下さい。

◎提出方法

<各世帯の皆さま>

- アンケートが入っていた長 3 サイズの封筒に入れ、封をしてから、
【9/13(月)】までに班長にお渡しください。

<各班長の皆さま>

- 班内で集まったアンケート入りの長 3 封筒を
【9/15(水)】までに自治会長にお渡しください。

◎その他

- 個々の回答内容については、上記で述べた目的以外には使用しません。
- また、中間報告などにおいても、回答者個人の特定を招くような引用は致しません。
- ご不明な点やお問合せなどがありましたら、担当課までご連絡ください。

アンケート実施：有限責任事業組合 風景社

担当：小山市自然共生課（0 2 8 5 - 2 2 - 9 3 5 4）

【1】 以下について教えてください。選択肢があるものが当てはまるものにマルをつけてください。

01 | 性 別 []

02 | 年 齢 [・ 20 代以下 ・ 30 代 ・ 40 代 ・ 50 代 ・ 60 代 ・ 70 代以上]

03 | 職 業 [・ 会社員 ・ 公務員 ・ 団体職員 ・ 自営業 ・ 農業（専業） ・ 農業（兼業）
・ パート/アルバイト ・ 学生 ・ そのほか（ ）
* 農家（兼業）の方は、複数回答可です。農業以外のお仕事もお選びください。]

04 | 自治会 [・ 藤塚 ・ 中坪 ・ 迫切 ・ 折本 ・ 本宿 ・ 檜木
・ 生良 ・ 上生井 ・ 東生井 ・ 下生井 ・ 白鳥]

05 | 地域活動の経験があるものをお選びください。複数選択可
[・ 自治会役員 ・ 消防団 ・ 氏子/檀家の組織 ・ PTA ・ 任意団体 ・ その他]

06 | 生井地区との関わりについて、下記より当てはまる番号を選んで、回答欄にご記入ください。
() には数字の記入をお願いします。

選択肢

- ①生井地区で生まれて、一度も地区外で住むことなく今に至る。
- ②生井地区で生まれて、進学のために数年間、地区外へ出て卒業後に生井地区に戻った。
- ③生井地区で生まれて、就職のために地区外へ出て（ ）年前に）生井地区に戻った。
- ④生井地区で生まれて、進学と就職で地区外に出て（ ）年前に）生井地区に戻った。
- ⑤小山市の他地区で生まれ育ち、（ ）年前に）生井地区に移り住んだ。
- ⑥栃木県内の他市町で生まれ育ち、（ ）年前に）生井地区に移り住んだ。
- ⑦栃木県外で生まれ育ち、（ ）年前に）生井地区に移り住んだ。

回答

⑤～⑦を選んだ方は、移り住んだ理由を差し支えない範囲で教えてください

[]

【2】 生井地区の歴史や地域資源についての認知度や関心度についてお尋ねします。

下記のそれぞれについて、選択肢 A と B から、それぞれ当てはまるものの番号を選んで、
回答欄に記入してください。

(1) 生井地区で行われている農業について

A：現在、どんなものがどんな規模や形態で生産されているか、知っていますか？

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：生井地区の農業に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

A 回答		B 回答	
------	--	------	--

(2) 生井地区の歴史（産業）について

A：明治時代に蚕業伝習所が作られるほど養蚕が盛んで、水運の拠点でもあったことを・・・

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：生井地区のこのような歴史に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

A 回答		B 回答	
------	--	------	--

(3) 生井地区の寺社について

A：お住まいの自治会や近隣に残る神社や寺の歴史、由緒、祭りなどを・・・

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：生井地区のこのような歴史に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

A 回答		B 回答	
------	--	------	--

(4) 生井地区が隣接する渡良瀬遊水地の歴史について

A：遊水地誕生の経緯（足尾鉍毒事件や谷中むらの歴史を含む）について・・・

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：渡良瀬遊水地の歴史に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

A 回答		B 回答	
------	--	------	--

(5) 渡良瀬遊水地の自然環境について

A：治水機能を持つ渡良瀬遊水地は、多様な動植物が生息する広大な湿地でもあり、2018年に、国際的に重要な湿地の基準にあるとして「ラムサール条約湿地」に登録されました。このような遊水地の自然環境について・・・

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：渡良瀬遊水地の自然環境に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

A 回答		B 回答	
------	--	------	--

(6) コウノトリについて

A：渡良瀬遊水地に飛来しているコウノトリの出身地や、遊水地で生まれたコウノトリの家族や名前などについて・・・

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：渡良瀬遊水地のコウノトリに関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

A 回答		B 回答	
------	--	------	--

【3】 渡良瀬遊水地コウノトリ交流館についてお尋ねします。

それぞれの選択肢から該当するものを選んで、番号を回答欄に記入してください。

(1) 生井地区に交流館があることを知っていましたか？

①知っている ②知らなかった

(2) (1) で①を選んだ人にお尋ねします。交流館に行ったことがありますか？

①行ったことがない ②1回、行ったことがある ③2回以上、行ったことがある

(3) (2) で②③を選んだ人にお尋ねします。どのような訪問でしたか？(複数回答可)

①一人で訪問した ②家族で訪問した ③生井地区内の友人や知人と訪問した

④生井地区外から友人や親戚が来たので交流館へ案内した。

④学校や職場で学習や研修で訪問した ⑤その他 ()

(1) 回答		(2) 回答		(3) 回答	
--------	--	--------	--	--------	--

- (4) 交流館では、現在、下記①～⑤の事業を行っています。それぞれ事業の必要性についてのご意見を、○（さらに充実させると良い）、△（わからない）、×（あまり必要性を感じない）の3段階で、記号を回答欄にご記入ください。

- ①渡良瀬遊水地に関する展示
②コウノトリに関する展示
③エコツアーリズム
④環境学習
⑤スペースの有料貸出

回答	
回答	
回答	
回答	
回答	

- (5) 交流館の活動について、ご提案などありましたら教えてください。

- 【4】あなたが「大切に守っていききたい」と考える、生井地区の「小さな自慢」は何でしょうか？

①から⑭の例を挙げました。この中から3つ選んで[回答]に番号をご記入下さい。

その他を選んだ方は、具体的に（ ）にご記入ください。

選んだ項目について、特に理由やご意見がありましたら[コメント]にご記入下さい。

選択肢

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①各地域に残る歴史ある神社やお寺 | ②各地域に残る祭りや風習 |
| ③「おべっか」や「十五夜」など地域の寄り合い | ④消防団や草刈りなど助け合いの活動 |
| ⑤水塚や揚げ舟など昔の防災の工夫 | ⑥過去の水害の記録や高齢者の証言 |
| ⑦隣接する渡良瀬遊水地の自然環境 | ⑧遊水地の葦（ヨシ）とヨシズ産業 |
| ⑨コウノトリの存在 | ⑩旧思川（水質・環境・風景） |
| ⑩水田が広がる風景、環境 | ⑪麦畑が広がる風景、環境 |
| ⑫産業や生業としての農業 | ⑬小規模小学校 |
| ⑭西の山々への眺望・思川対岸の緑地 | ⑮その他（ ） |

回答			
----	--	--	--

コメント

- 【5】あなたが「無くしたい」「解消したい」「解決したい」と考える、生井地区の困りごとは、
 どんなことでしょうか？①から⑫の例を挙げました。この中から3つ選んで「回答」に番号をご記入下さい。その他を選んだ方は、具体的に（ ）にご記入ください。
 選んだ項目について、特に理由、ご意見がありましたら「コメント」にご記入下さい。

選択肢

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①自治会や消防団など地域活動の担い手不足 | ②農業の担い手、後継者不足 |
| ③祭りの担い手、後継者不足 | ④半ば強制的に感じる地域の集まりや寄合い |
| ⑤昔からの風習 | ⑥地域でのコミュニケーションの不足 |
| ⑦水害の不安 | ⑧避難経路や避難場所の問題 |
| ⑧地区外からの来町者のゴミのポイ捨て | ⑨地区外からの来町者の交通マナー |
| ⑩選択肢が少ない教育環境 | ⑪選択肢が少ない働く場 |
| ⑫その他（ ） | |

回答			
----	--	--	--

コメント

- 【6】生井地区以外との関わりについて、(1)(2)に、下記の選択肢から該当するものを選んで番号で回答欄にご記入下さい。

選択肢

- ①野木町
- ②古河市
- ③栃木市
- ④渡良瀬遊水地エリア
- ⑤間々田地区
- ⑥生井地区の北部（寒川・豊田・中・穂積）
- ⑦小山市中心部：駅西地区（市役所・城山公園などがあるエリア）
- ⑧小山市中心部：駅東地区（中央図書館などがあるエリア）
- ⑨桑地区（おやまゆうえんハーヴェストウォークなどがあるエリア）
- ⑩絹地区（墓園やすらぎの森、第二工業団地などがあるエリア）
- ⑪大谷地区（第一工業団地などがあるエリア）
- ⑫その他（具体的にご記入下さい）

- (1) 仕事や通学で通っている地域を、前ページの①から⑫から選んで、番号を回答欄に記入してください。生井地区内で働いたり学んだりしている人は⑬と書いてください。

回答	
----	--

- (2) 仕事や学校以外で、よく出かける地域を①～⑫から上位 2 つを選んで、回答欄に番号で記入してください。また、それぞれの地域へ行く理由を、[] 内の選択肢から選んで、当てはまるものすべてにマルをつけてください。(複数選択可) その他は()に記入してください

よく出かける地域 1	回答	
------------	----	--

出かける目的

- | | | | |
|---|------------|--------------|-------------------|
| [| ・日常の買い物 | ・特別な買い物 | ・映画や演奏会など文化的催しへ参加 |
| | ・アウトドアレジャー | ・スポーツ/スポーツ観戦 | ・セミナーや勉強会 |
| | ・食事や宴会 | ・街歩き | ・友人や親戚に会いに行く |
| | ・病院 | | |
| | ・その他 () | | |

よく出かける地域 2	回答	
------------	----	--

出かける理由

- | | | | |
|---|------------|--------------|-------------------|
| [| ・日常の買い物 | ・特別な買い物 | ・映画や演奏会など文化的催しへ参加 |
| | ・アウトドアレジャー | ・スポーツ/スポーツ観戦 | ・セミナーや勉強会 |
| | ・食事や宴会 | ・街歩き | ・友人や親戚に会いに行く |
| | ・病院 | | |
| | ・その他 () | | |

- 【7】 最後に、田園地帯である生井地区に暮らす皆様から、小山市の都市部に暮らす人たちへの希望や呼びかけたいことがありましたら、メッセージを伺います。自由にお書きください。

[		]
---	--	---

ご回答、ありがとうございました。

生井地区「持続可能なまちづくり」に向けたアンケート | 集計結果_1 単純集計 + 自由記述

【0】回答数

1. 依頼及び回収方法

糊付できる封筒に質問票を入れ、自治会を通して配布。班長-自治会長-公民館-自然共生課のルートで回収。8/19 自治会へ依頼・9/15 回収締め切り

2. 回収率：70%

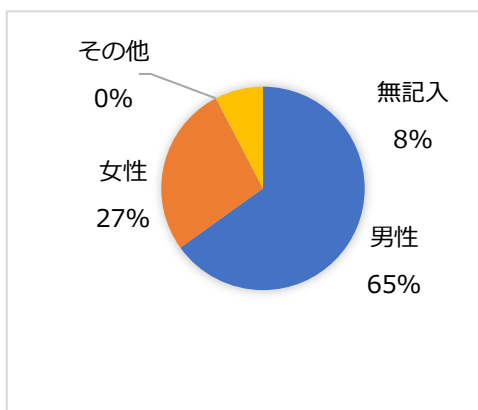
総数 生井地区 577 戸に配布し、404 通の回答があり、回収率 70.0%となった

自治会別 回収数/戸数 (%)

①藤 塚：18/27 (66.7%)	②中 坪：29/62 (46.8%)	③追 切：43/54 (79.6%)
④折 本：16/28 (57.1%)	⑤本 宿：48/53 (90.6%)	⑥檜 木：36/36 (100%)
⑦吉 良：24/37 (64.9%)	⑧上生井：33/58 (56.9%)	⑨東生井：46/59 (78.0%)
⑩下生井：64/88 (72.7%)	⑪白 鳥：47/75 (62.7%)	

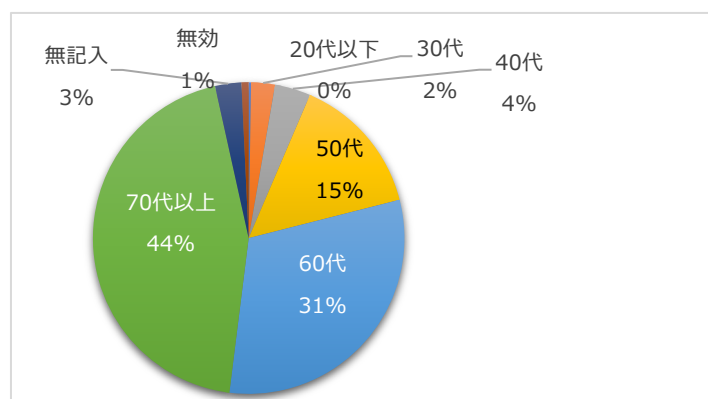
【1】回答者の属性

01 | 性別



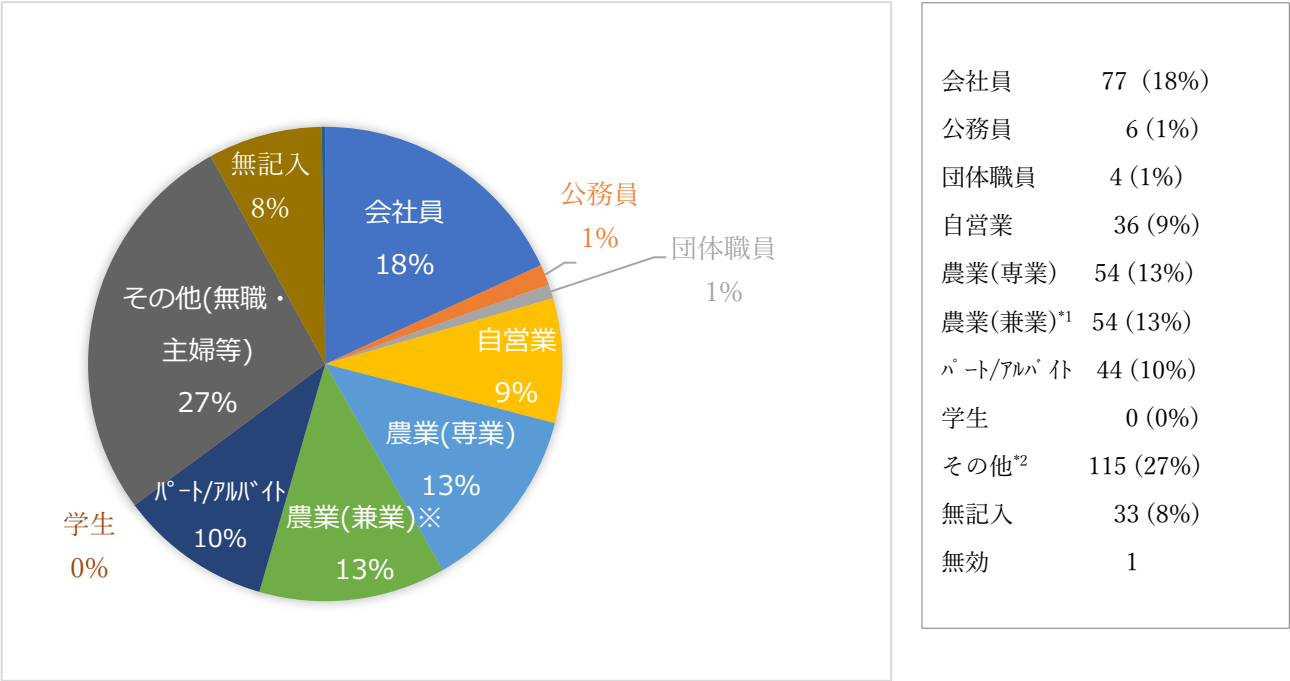
男性	263
女性	110
その他	0
無記入	31

02 | 年齢



20 代以下	1	50 代	59	無記入	11
30 代	10	60 代	125	無効	3
40 代	15	70 代以上	180		

03 | 職業 * 兼業農家のみ複数回答

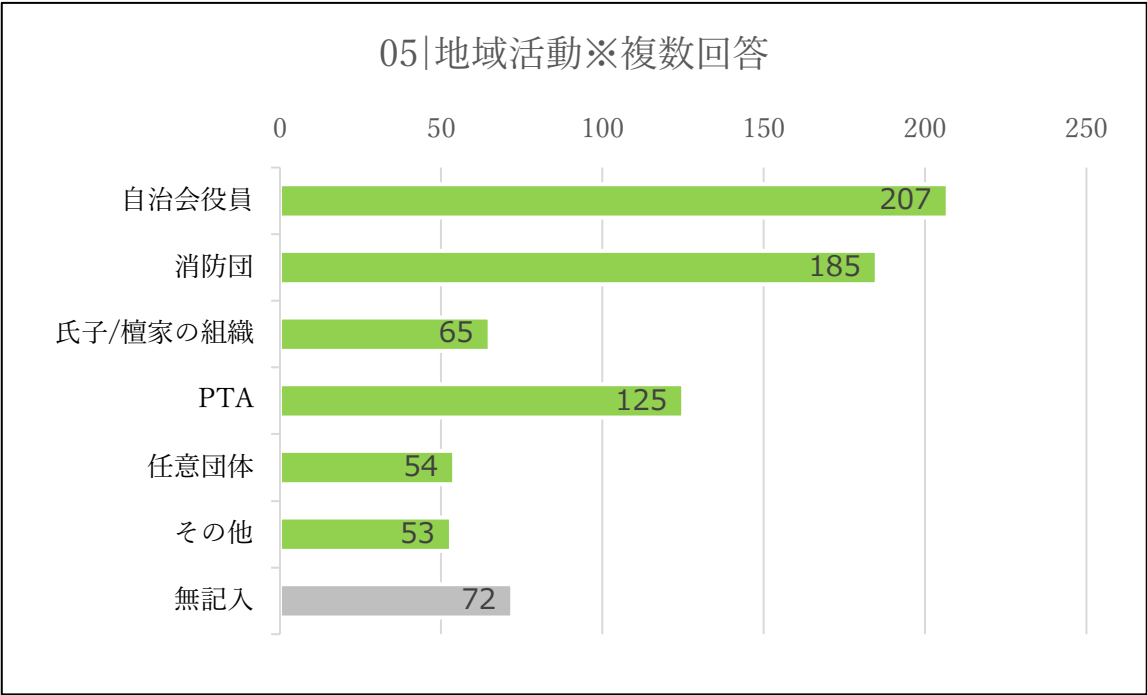


*1 兼業農家の複数回答 他の職業を記入した人 54 名中 18 名

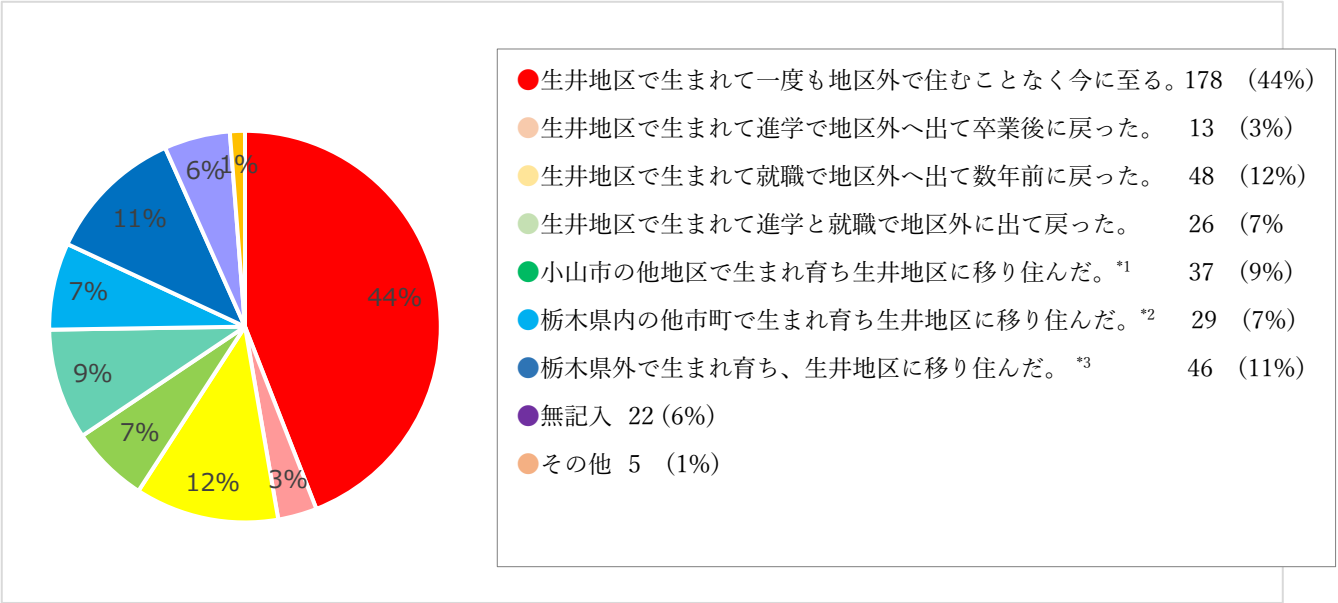
*2 その他内訳（無職64 主婦 8 年金生活 3 会社役員 4 大学非常勤講師 1 整備 1 非会社員 1 無記入 33

04 | 所属自治会 前ページ

05 | 地域活動の経験 ※複数回答 無記入 72 名は地域活動経験無し



06 | 生井地区との関わり



*1-3 生井地区への移住の理由

結婚 51、親・義理親との同居など 11、土地・物件があって 6、出産のため 2、ほか 5、無記入 36

【2】生井地区の歴史や地域資源について A：認知度 B：関心度 *グラフは次ページ

(1) 生井地区で行われている農業について、どんなものがどんな規模や形態で生産されているかを・・・

A	■よく知っている	■まあまあ	■あまり知らない	■全く知らない	■無記入
	53 (13%)	150 (37%)	137 (34%)	45 (11%)	19 (5%)
B	■とても関心がある	■まあまあ	■あまり関心がない	■全くない	■無記入
	48 (12%)	150 (37%)	142 (35%)	38 (9%)	26 (6%)

(2) 生井地区は明治時代に蚕業伝習所が作られるほど養蚕が盛んで、水運の拠点でもあったことを・・・

A	■よく知っている	■まあまあ	■あまり知らない	■全く知らない	■無記入
	79 (20%)	167 (41%)	88 (22%)	52 (13%)	18 (4%)
B	■とても関心がある	■まあまあ	■あまり関心がない	■全くない	■無記入
	58 (14%)	166 (41%)	126 (31%)	31 (8%)	23 (6%)

(3) お住まいの自治会や近隣に残る神社や寺の歴史、由緒、祭りなどを・・・

A	■よく知っている	■まあまあ	■あまり知らない	■全く知らない	■無記入
	71 (18%)	166 (41%)	135 (33%)	15 (4%)	17 (4%)
B	■とても関心がある	■まあまあ	■あまり関心がない	■全くない	■無記入
	57 (14%)	173 (43%)	128 (32%)	22 (5%)	24 (6%)

(4) 生井地区が隣接する渡良瀬遊水地誕生の経緯（足尾鉍毒事件や谷中むらの歴史を含む）について・・・

A	■よく知っている	■まあまあ	■あまり知らない	■全く知らない	■無記入
	79 (20%)	178 (44%)	107 (26%)	25 (6%)	15 (4%)
B	■とても関心がある	■まあまあ	■あまり関心がない	■全くない	■無記入
	73 (18%)	173 (43%)	144 (28%)	22 (5%)	22 (5%)

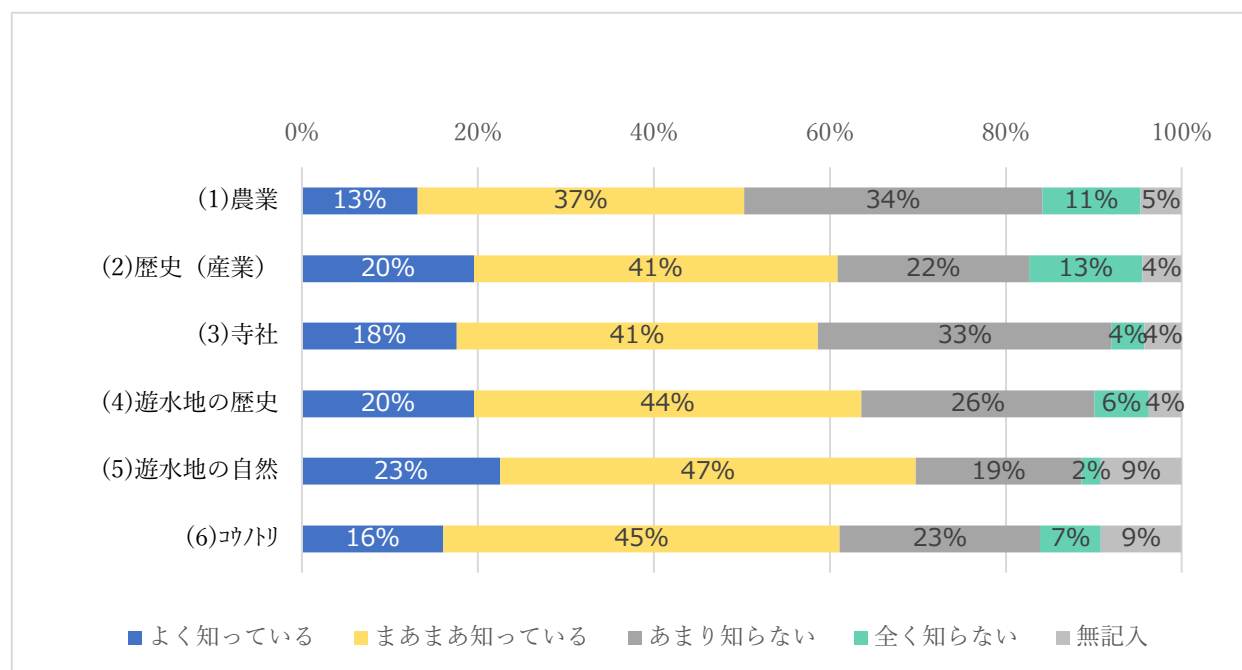
(5) 治水機能を持つ渡良瀬遊水地は、多様な動植物が生息する広大な湿地でもあり、2018年に国際的に重要な湿地の基準にあるとして「ラムサール条約湿地」に登録されました。このような遊水地の自然環境を・・・

A	■よく知っている	■まあまあ	■あまり知らない	■全く知らない	■無記入
	91 (23%)	191 (47%)	76 (19%)	9 (2%)	37 (9%)
B	■とても関心がある	■まあまあ	■あまり関心がない	■全くない	■無記入
	76 (19%)	183 (45%)	74 (18%)	6 (11%)	12 (5%)

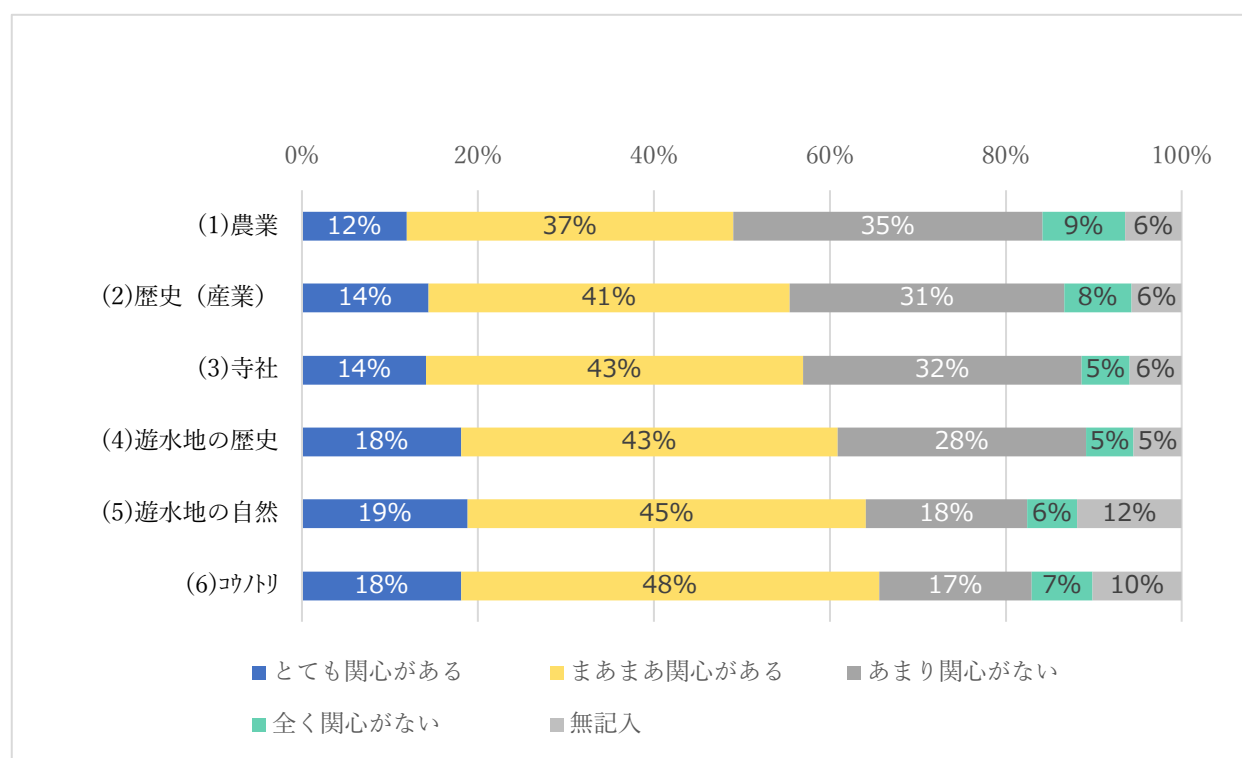
(6) 渡良瀬遊水地に飛来しているコウノトリの出身地や、生まれたコウノトリの名前や家族について

A	■よく知っている	■まあまあ	■あまり知らない	■全く知らない	■無記入
	65 (16%)	182 (45%)	92 (23%)	28 (7%)	37 (9%)
B	■とても関心がある	■まあまあ	■あまり関心がない	■全くない	■無記入
	73 (18%)	192 (48%)	70 (17%)	28 (7%)	41 (10%)

A：認知度

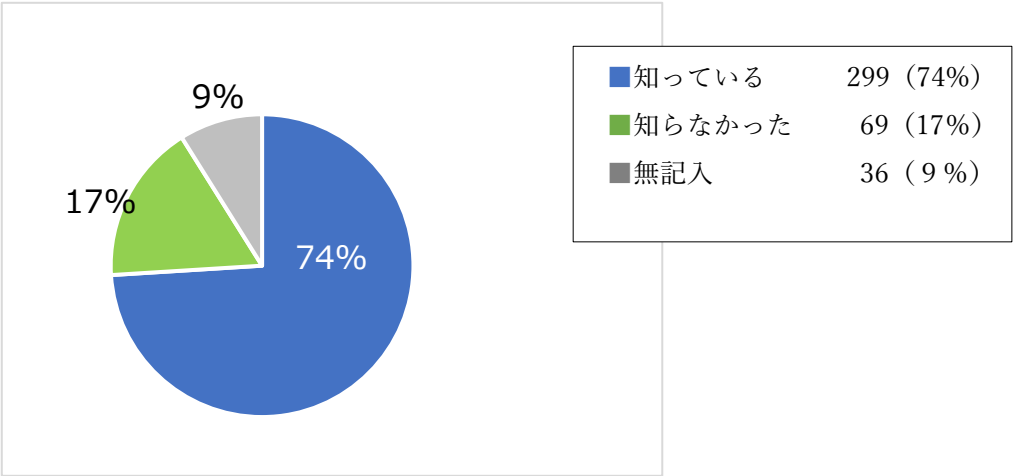


B：関心度

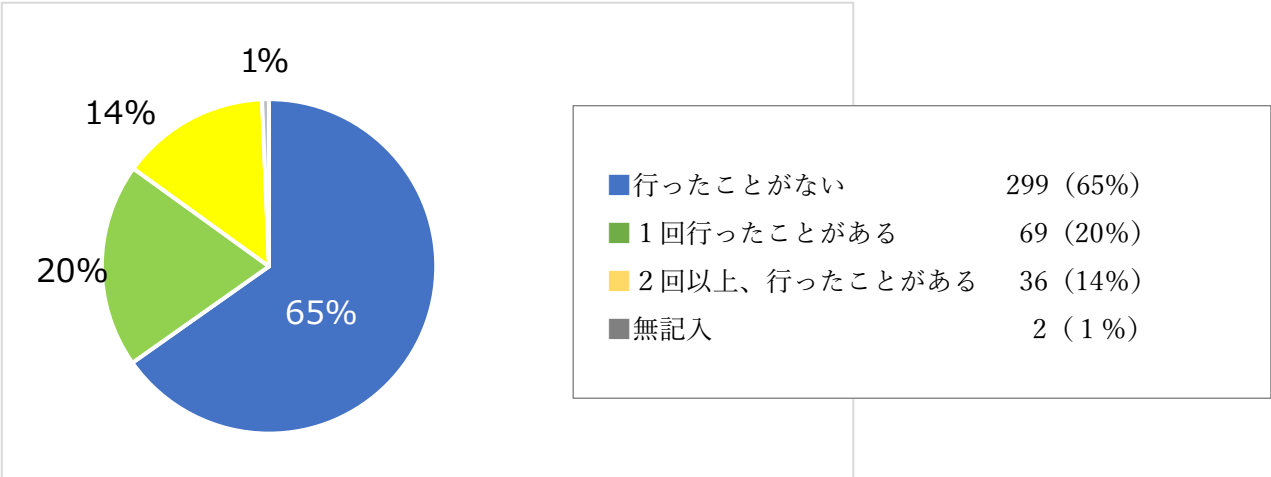


【3】 渡良瀬遊水地コウノトリ交流館について

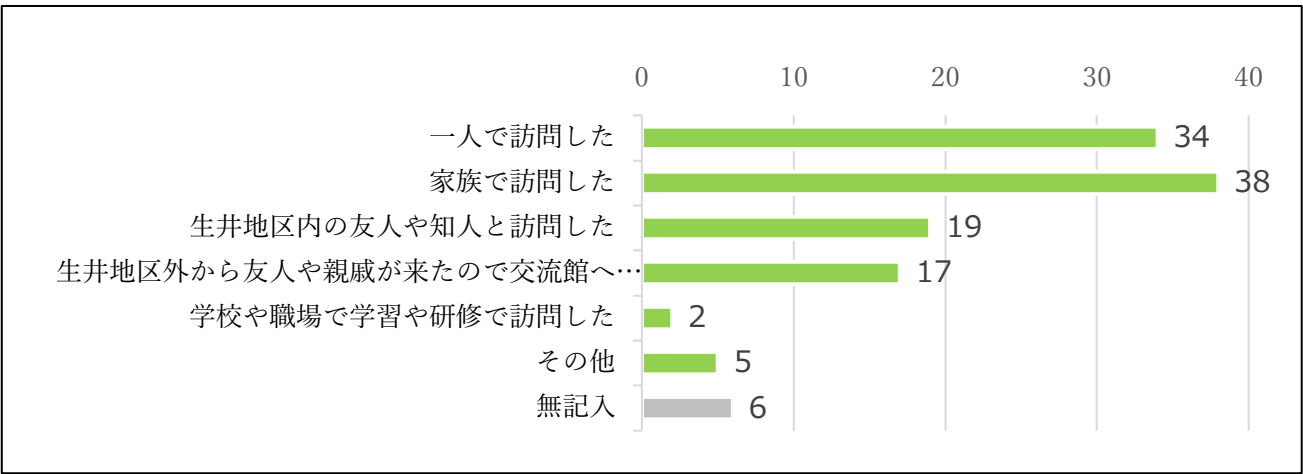
(1) 認知度



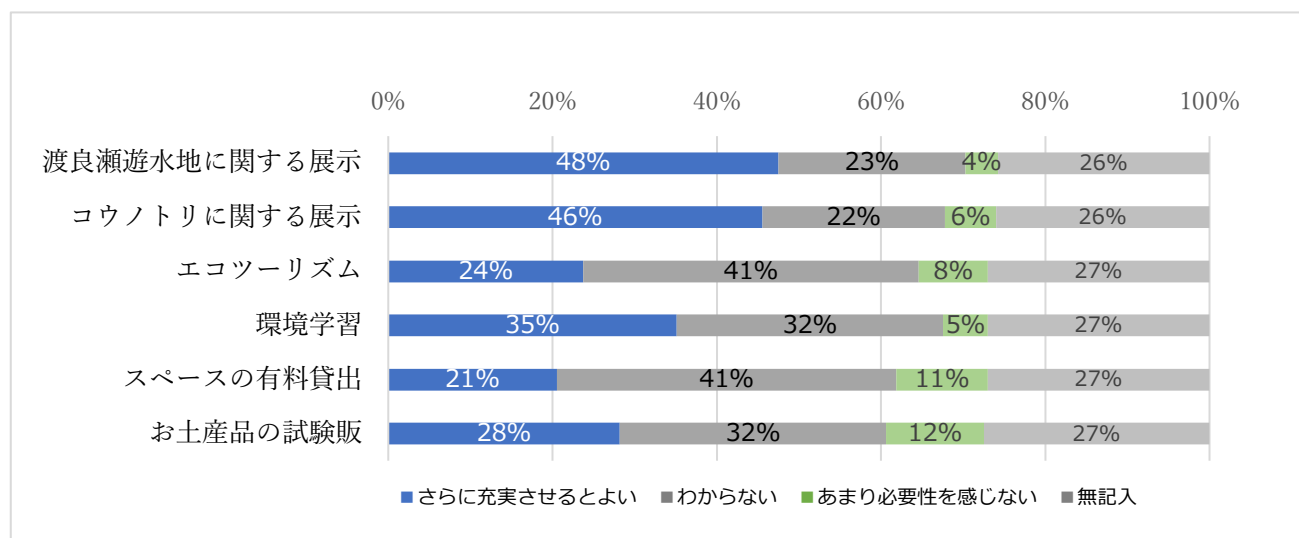
(2) 訪問経験 (1)で「知っている」と答えた 299 名の回答を集計



(3) どのような訪問か (2)で「1 回以上行った」と回答した 105 名の回答を集計 *複数回答可



(4) 交流館の事業について



回答人数	遊水地	コウノトリ	エコツーリズム	環境学習	有料貸出	土産・試験販売
■さらに充実させるとよい	192	184	96	142	83	114
■わからない	92	90	165	131	167	131
■あまり必要性を感じない	16	25	34	22	45	48
■無記入	104	105	109	109	109	111
合計	404	404	404	404	404	404

(5) 交流館の活動について、ご提案などありましたら教えてください。

必要性についての意見

- ・別に必要ないと思います
- ・コウノトリ交流館についても、生井地区の人は行ったことがないと言う人がほとんどであり関心がありません。
- ・税金をいくら投入して作ったか？いくら毎月かかって運営しているか？その効果を知りたい
- ・中途半端にやるならやらない方がいい。税金の無駄使いだと思う
- ・コウノトリについてや交流館によって今後生井地区がどのように変わっていくのか変わろうとしているのか（行政側から）よくわからない
- ・一回も行ったことがないので分かりません。
- ・交流館に行ったことがないので意見を言う立場にない。

立地や広報について

- ・交流館と生息地が離れすぎています。場所がわかりづらく華やかさが足りず、せっかくお金を使っているのにもったいない。
- ・なぜあのような場所に作ったのかいみがわからない。でももう始まったことなので、どんどん発展するように小山市でしっかり活用すべき

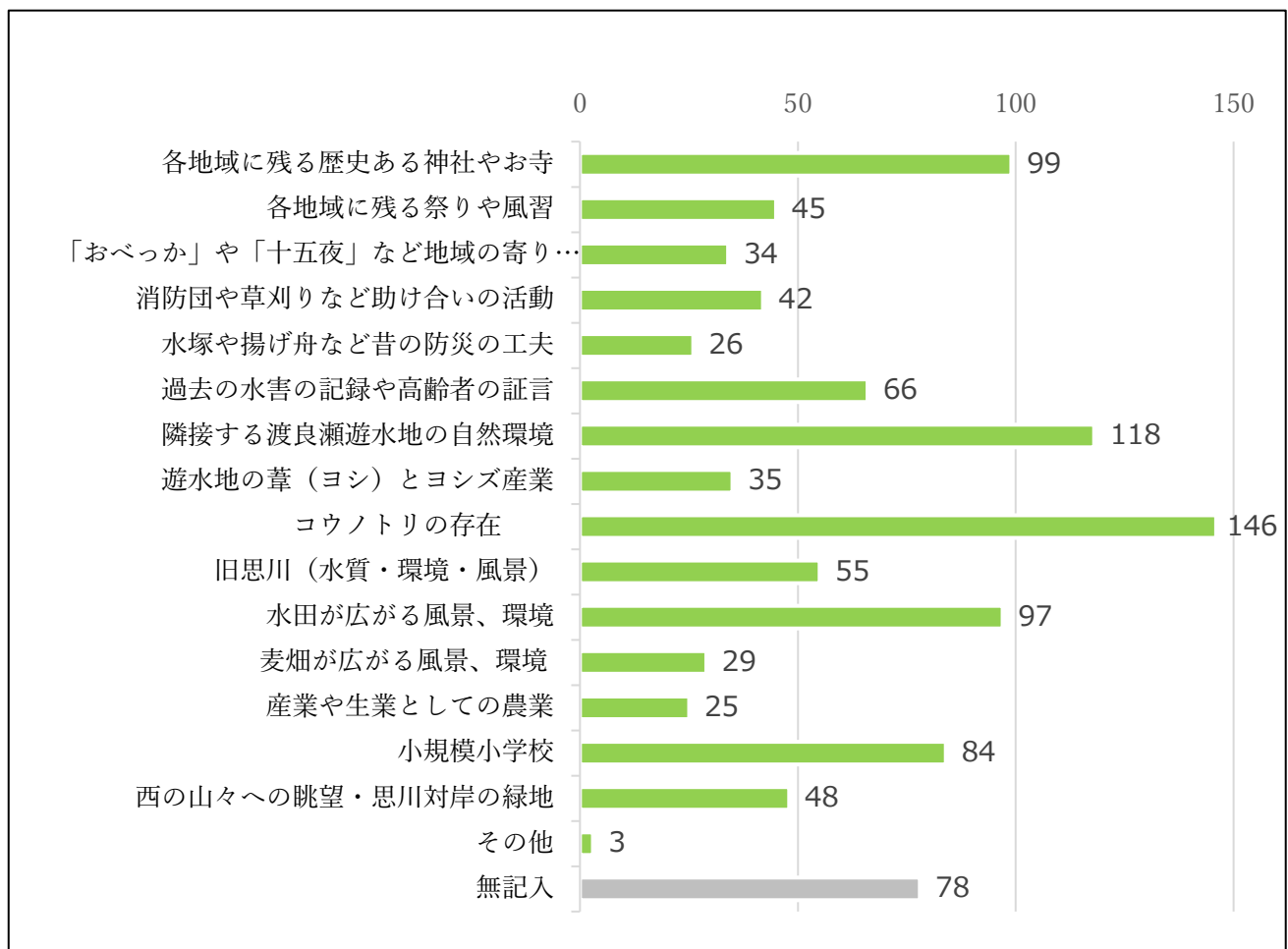
- ・立地条件が悪く、地元の住民も行きづらい。→何をやっているのかわからない。まず、地元の人たちを招き入れるイベント等が必要と思う。
- ・交流館の場所がわかりづらかった。看板をもっと大きくして見易い方が良く分かる
- ・周辺の道が狭くすれ違いができない
- ・交流館の活動そのものを知らない。
- ・交流館の案内の看板の設置をお願いする
- ・建築してある事がわかりづらい。もっとわかりやすい看板を設置する。入管道路がせまい。
- ・PR が少ない
- ・広報などによる特集を組んで、もっと地域住民に周知活動してほしい！

活用法についての提案や要望

- ・自然環境維持や保護への必要性を後世に伝える（児童教育）重要性あり
- ・都内との交流の場をたくさん受け入れ過疎化対策の一環として魅力ある生井地区に有効に取り入れてみたいですね
- ・生井地区の歴史の珍しい物等を小冊子に編集・紹介し販売したらよいのでは（東生井、西生井、上生井、向島、生良等 旧生井地区）
- ・訪問したことがないので良く分かりませんが、スペースの有料貸出について何かサービスがあったら良いかなと思いました。
- ・道の駅、北川辺に遊水地ができた経過や歴史のビデオがある。それを活用しては？
- ・訪問件数を増加させるための活動
- ・自然ありのままの姿を残してください。
- ・谷中村が廃村となったこと、北海道の開拓で辛い思いをした人々のことなど現在の遊水池ができるに至った経緯を広く伝える方策を考えてほしい
- ・BGMに「水辺のシンフォニー」を流すと良いのでは（数年前に渡良瀬遊水地の為に作った曲なので）
- ・訪れた方の食事処、休める所を作る。近辺の方の野菜お米販売など
- ・地元の野菜、米などを直売しては？
- ・①遊水地の現状を図で表す展示 ②コウノトリの行動（1年間）状況 ③コウノトリのなきごえ ④コウノトリの動き 映像で分かればよい
- ・①活動があまり良く浸透してなく分かりにくい。②交流館の位置わかりづらい。もっと看板を設置したほうが良い。③交流館だけに限らず、博物館ほか公共施設をもっと有効利用すると良い。教育委員会含め。
- ・コウノトリがいなくなる時期の交流館の活用について考えられたらいいと思います。
- ・展示や紹介だけではリピーターを呼び込めない。イベントや発表、行事、祭りなどの最高と近隣地域の景観やカフェ、食堂などの休息施設、その土地でしか手に入らない食品や土産品などの総合的なプランと実行がカギとなると思う
- ・現在のコロナ禍の状況の中で活動が制限されて担当職員は苦勞されている事と思います。遊水地内には他管内から来訪されていますが表示看板を各場所に設置することと、展示物の鑑賞ではなく感染症防止対策を徹底した簡単なカフェテリア等を開設し集合を図ってはいかがでしょうか
- ・展示がマンネリ化しないよう、定期的な企画展などの開催
- ・本の貸し出しをしてほしい

- ・親子で来ても楽しめるように花木を植えたりベンチ等休める場所があるといいのでは？
- ・交流館の前の広場で小さなイベントをやったと思う。イベントの内容については色々あると思うがコロナの件もあるのでなんとなく活性化がない様だ。イベントを多く取り入れる
- ・お土産品の販売を充実させて集客をしたら良いのでは。地産野菜等と一緒に販売するとか
- ・学校との学習などで色々お世話になっています。今後も何かあったら協力したいです。
- ・コロナであまりできていないけどワークショップなど参加したい。自動販売機など飲み物も飲めたり休憩できるといい
- ・交流館が目立たないので寄りにくい。地元の生産物を扱うと良い

【4】あなたが「大切に守っていききたい」と考える、生井地区の「小さな自慢」は何でしょうか？
選択肢から3つ選んで回答。



コメント欄

自然環境や景観・農業

- ・自然との共生
- ・10（旧思川）の水質や自然環境が昔の状態と較べてかなり悪くなっているの、少し手を加えて整備す

ると良いのでは？（手長エビ、ライ魚、うなぎ、タナゴ、ヤナギバエ、カラス貝等が見られなくなっている）樹木も植林したら？

- ・高齢化により全ての活動が次第に苦しい状態になってきている、旧思川については子供の頃泳いだ思いもあり、水深も何メートルもあった。魚介類も多く確認しており、川ざらい、井戸等により良い環境に願いたく思っています。
- ・旧思川の水質を良くして欲しい
- ・特に旧思川の污水対策を早急をお願いした、悪臭で困っている。水をきれいにして釣り場、遊び場をつくる
- ・旧思川の全体環境
- ・あまり変化してないように見える田園風景ではありますが、見かけなくなった動物や生き物がいるので自然や土地を大切にしたいと思う
- ・場所によっては北海道にいるような広大な景色がある。
- ・世界に誇れる遊水池は生井の宝
- ・生井地区は自然豊かな農村地帯というだけでなくコウノトリの存在が、今後の生井地区のアピール性に大きく貢献すると思う。
- ・乙女大橋を渡ったときい広がる緑一面の景色は見事である。一昔前には、夕焼けも目を見はるようなものだった。農家を支える方策を考えてほしい。
- ・ヨシ焼き
- ・最近、堤防上の道路をサイクリングする人たちを多く見かけます。にもかかわらず堤防は草ボーボーでせつかくのシチュエーションが台無しです。
- ・水害を除けば、自然と農業生産の豊かさ。
- ・12 と 15 は同じ。自然環境や景観の素晴らしさ！！
- ・農業との取り組み方として環境に優しい稲作の取り組み
- ・豊かな田園風景は素晴らしいですが、農業に携わる若手がいません。ごく僅かに過ぎません。魅力ある産業や生業としての農業を希望します。他県での企業さまへの PR 活動、生井、網戸地区での田園地帯の活用を生かしていただけるよう要望いたします。大企業さまへの農協の依頼。発展してもらいたい

地域の歴史

- ・下野新聞に網戸神社が紹介されたことがあり、最近ご朱印をもらいに来る人が増えてきたとのこと。神社・お寺は大切にしたいものです。
- ・小山城の出城として、下生井に残っている小谷城跡地も今の状況では守っていけない。8 軒の家で守ってきたが高齢になり、次の代の人はやる気がないので困っている？

人間関係やコミュニティ

- ・自然環境にめぐまれている反面、人々とのつながりはないように思う。コウノトリについても地元の人にはあまり関心がない。
- ・③:田舎であっても近所の人と話をする回数が減った。コミュニケーションを深めるために「おべっか」は必要だと考える
- ・これまでの歴史や伝統を尊重しつつも若い人や女性の思いが反映されるような地域であってほしい、今なお男中心の社会であることが残念である
- ・地域の寄り合いは無くしてはならないと思う。人のつながりが強いのが生井の自慢だと思う。20 代 30

代 40 代のわい会世代の人はそれが希薄に思われる。その解消に「おべっか」は役に立つと思

水害について

- ・物心がついた頃、大雨の度に心細い思いをしてきた記憶があります。それは今も変わらず、夏になると心配になります
- ・全国各地で災害が起こっています。ひとごとでなく常に危機感を感じています。
- ・80 歳になる者ですが、水害のことはよく知っております。(小学 2 年生の時に)
- ・水害はこれからも続くことなので記録や証言を後世に残していく

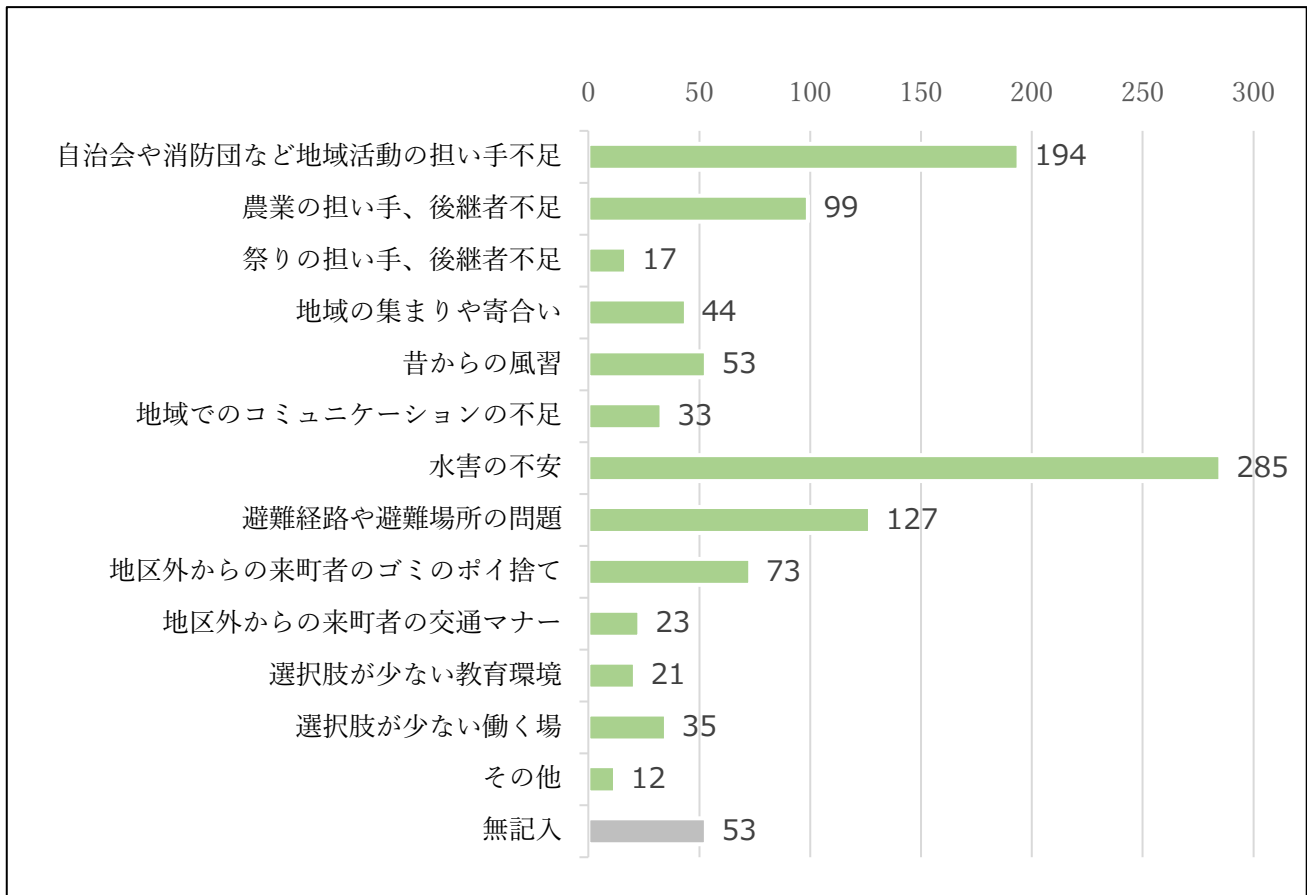
市への提案や要望

- ・(無記入者) 行政側から他の地域の方々が住みたくなる工夫をしてほしい。そのためにまず調整地域(市街地)の見直しを行って欲しい。地元の人には上記の事は大体知っている。ほかの地域の人たちによさを宣伝して欲しい
- ・生井地区には祭りが無くなり水害も問題もあり若い人が住み付きません。水害のない生井地区にしてほしい
- ・最近の地球温暖化による災害にたいする防災拠点としてのモデル地域として、対外的にもっと活用と発信していく事が地域に住む者の意識向上と他地域への応用として役立つと思う。特に思川流域として ①：南摩ダム ②：渡良瀬遊水地 ③：田んぼダム の総合的防災を訴えていく事
- ・現在少子高齢化の進展が社会でも大きな問題になっています。農村部でも農業従事者の減少で離農も余儀なく訪れ、生活面でも通院、買い物等、地域の在り方が不可欠であり、各自治会で将来に向けた独自の施策づくりが必要になることと思います。

複数ジャンルの回答やそのほか

- ・別に無いです
- ・(無記入者) 特になし。3, 4, 10 等を例に挙げる事じたい間違っている
- ・敢えて三つ選びました
- ・大切にまもっていききたい
- ・⑦：水害に役立っている ⑨：コウノトリが時々見られて心が和む長生きが出来そうです ⑭：統合して大規模小学校に集約してほしい
- ・選んではみましたが、なかなか内部の人間が良さに気付くのは難しいのではと思います。
- ・1~15 全部が自慢です
- ・消防団は水防については切り離せない。年齢を問わず持続しなければならない。異常気象がますます加速するため。・農業の発展なくして田園地区は成り立たない。どのように農業ばなれをなくすか考えないといけない。・小学校は絶対無くしてはならない。教育の場が無くなるイコール地域の衰退になる。小規模を強みにした教育を進めなければならない。人間育成の場として活性化させなければならない。
- ・地域のシンボルとして学校は残していただきたいです。
- ・地域を自慢できる
- ・自然環境を大切にして地域の寄り合い助け合いの活動が大切だと思う
- ・どんなに生徒が少なくなっても特殊な環境を生かした指導が必要だと思う
- ・全てまもっていったら、いいなと思っています。少しづつでもみんなで活性化できればいいな
- ・ヨシが生えている遊水池の景色が好きです。コウノトリが来てくれたおかげで地域も小学校も盛り上がってうれしい。地域との交流のある小規模だからこそ体験できる小学校は、これからも残していきたい。

【5】あなたが「無くしたい」「解消したい」「解決したい」と考える、生井地区の困りごとは、
どんなことでしょうか？ 選択肢から3つ選んで回答。



地域活動の担い手不足・若年層の流出・空き家

- ・話は別ですが、若い人が少なくなった為、年寄りのどぶさらい、草取りが70～80代以上で息付いは荒く、暑いときはたおれそうです。何とかならないでしょうか！
- ・若い人たちの流出、空き家対策が思うように進んでいない。地域の人々の集まりがない。
- ・高齢化少子化が進んで若者が都市部に移住している傾向である。だれも住んでいない空き家も増えている。黒須さん宅は空き家で住んでいる人がいない為、前庭が外部からのゴミ捨て場になってしまい見苦しい状態であるので「ゴミの片付け」だけでも何とかならないか（行政）
- ・住みたくならないような環境、若者に負担や重荷になること
- ・子どもが生井地区で結婚して家建てたり赤ちゃんが生まれたりしたとき祝い金をだしてくれたり、住民税を減らしてくれるとほかの地域に移り住むことが少なくなると思う。上記の問題にも住むと（生井地区に）得があるほうがいいと思う。他県でこの様なシステムで行っているところがあるので調べて過疎地域に取り入れてほしい
- ・消防団の担い手不足を解消したい
- ・消防団を無くしてください。強制参加させられそうです。精神病になったら市が面倒をみってくれるのか？
- ・必要のない地域の集まりを減らしたい

- ・会社に勤めながら自治会の役員やら休日に草刈りをしたり大変苦痛です。
- ・色々の役が多すぎるため、市で何とかありませんか
- ・若者からしたら地域での集まりは減らしてほしい事案ではある。そうでなくてもゴミステーションの清掃など住民が少ないから頻繁にまわってくる。農業人口も減っているので会社に行きながら寄り合いなどあるのも大変。
 - ・生井地区の住民が皆、農業をしているわけではない。現代の米作は大型農機が必要で、米作を頼んでいる人が少なくない。後継者というのは、農業の担い手ではなく、住民となる者のことでもある。住民の増える地域にしていく方策を考えてほしい。空き家が増えている現状、その原因を考えてほしい。
- ・役員が回ってきてても引き受ける人がいない。年寄りが多い。空き家が多くなっています。
- ・若者たちは、自治会や消防団に入るのがイヤで街に出ていってしまう。特に消防団は人口も減っているので統廃合するべきと思う。
- ・昔からの風習や、毎年のように思川水害の不安があり、こどもたちが結婚を機に小山や他に家を建てるようになった。水害不安をなんとかしてもらいたい。それにより老人のひとり暮らしが増えているので、生井地区にも自分で行ける病院や、老人介護施設があると家を出た子ども達や本人も安心できるのでぜひともお願いしたい。
- ・空き家、空地の問題を何とかしてほしい
- ・①消防団に入団する人がいない（若者がいない）
- ・農業で食べていけないので、農業の後継者不足は避けられず、生井地区も限界集落になりそうです。
- ・東部幹線などの草刈りを無くしてほしい。その水辺の周りを散歩できる用にして散歩道にしてください。年齢が高齢化になってます。・自治会、農業関係の役割も多すぎだと思います。→若い年齢の方が住み付きません。八メーター道路のあじさいを何とかして欲しい。草刈り・取り大変です迷惑です。
- ・高齢者に対しての健康者（70才前）関心不足、老人会の活動を盛り上げる
- ・人口の減少が止まらない。担い手不足が問題である。地域の人たちの協力なくして生活ができない。
- ・若い人がいない
- ・草刈は年間回数を増やしていただき、住民が行う事をなくしていただきたい。住民も高齢化が進み、これから先何年続けられるかわからない。
- ・老人独居が多く地域活動無理
- ・農村地帯なので若い人が働く場があまり無く、後継者不足が困る
- ・このままでは本当に若者のいないさびしい地域になってしまうと思います。自然豊かでいい所なのにもったいない気がします。
- ・空き家対策…現在でも数件ありますが、5～10年先には増える可能性あり、火災が心配

水害

- ・水害の不安の解消をもっと明確に指示して欲しい。思川氾濫による水害の危機の対策、過疎化対策
- ・水害が一番怖い。特に土手が切れると8m水没などありえない環境。もし一回でも水害にあったら他に住み替える
- ・水害については毎年台風などの季節になると不安になるので、地域を守るための具体的な対策案が考案されて実行されたいと思っています。

- ・②：毎年台風時期の不安を解消したい
- ・生井、綱戸地区は水害洪水地区です。平成 27 年 9 月、令和元年、10 月大洪水思川あと一寸で水位が上がり氾濫になるところでした。土手の整備などは行き届いて、安全対策には十分やっけていただけていますが我々住民に対しての非難経路誘導、お年寄り、一人暮らしや体の不自由な方々、自治体だけでは皆さんにお伝えできません。行政で地区担当者責任者をおいていただけて安全に確保していただきたいです。生井公民館の館長様もてんてこまいの状態でしたよ！令和元年 10 月水害の時です。主人入院中のため、私（妻）が自治会取りまとめました。ひとり暮らしのお年寄り、特に移動困難です。事前にご親戚身内の方がいれば避難するようお声かけしてください。行政でこの件はかなり難しいことですが、お車での手配をしていただければ安全第一、精神的にも不安が解消されると思います。
- ・水害は大きな問題でむずかしい！！
- ・台風の際に水害が不安、車がないと生活できない（通院買い物）
- ・とにかく水害が心配。行政には水害対策にもっと力を入れてもらいたい。
- ・遊水地の池の拡大、強化
- ・毎年の水害避難が大変。地域にお年寄りしかいない。
- ・難しい部分があるとは承知しますが、水害からの不安解消が一丁目一番地と考えます。
- ・避難経路、場所が間々田地区にあり遠方である。近くに避難できる場所があると良い。
- ・水害についてもっとこの地区は住みたくないという考えではなく全国どこにでも発生している災害のため対策を市・地区で共有し安心できるようにしなければならない
- ・毎年、大雨により思川の氾濫危険の恐れにより避難している。従って安心して住んでいられるようにしたい。
- ・最近の集中豪雨を考えると思川による水害が心配である。
- ・生井地区は昨今の異常気象による水害危険地区の為、新たに移住する人が少ない。人口も減少している。今後は新たな安心安全に生活できる治水機能をお願いしたい！
- ・75 年近く水害がなかったのですがでも心配です。
- ・今般の天気配置などみますと線状降水帯など異常気象があるので水害が心配です。若い人が都会に出て戻る人がいないです。
- ・近年地球環境の変化に伴い大雨による集中豪雨が各地で危惧されています。生井地区は堤防が強化され施設も整備され決壊することはないが避難場所については当地区の避難経路は松原大橋を渡るルートが近いので野木町と連携し今後場所の変更を検討願いたい。
- ・地球温暖化により、豪雨が各地で報道されているのを見るたびに、次はこの地区がならないかいつも不安になります。避難経路確保等よろしくお願いします。
- ・水害の不安が一番強い
- ・避難場所…年配者の扱い

教育環境

- ・11（選択肢が少ない教育環境）に関して少子化をしている現在だからこそ、同学年であったり、その他の学年の子どもたちが多くの人間関係の中でいろいろ学べる環境が理想である。
- ・少人数で教育を受けられるのはありがたいが、少人数なりの問題はたくさんある。

- ・以前、説明会があり、小中一貫で、他校と合併する話があったのに、市長が変わり白紙に戻ったと聞きました。少人数教育の良さもありますが、自由に学校を選べるようにして欲しいです。乙女小学校への入学を希望しています。現在2人という少ない人数のため、通わせる気にはなれません。

地区外からの来訪者の問題

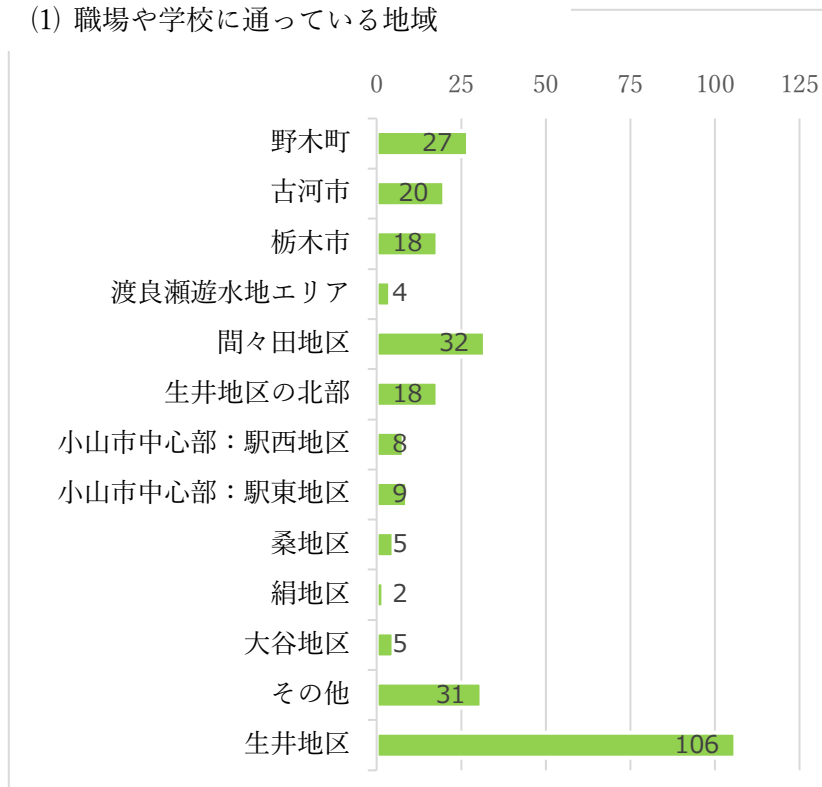
- ・ポイ捨てなど：徹底した犯人探しを実施してほしい
- ・緊急事態宣言が出ている地域からの見物は控えていただきたかった。一時停止をすることが多い。田植えなどで停車している農業者にむけて暴言を吐く方もいた。
- ・スカイダイビングや飛行機の騒音をなくしてほしい。せっかくのすばらしい生井地区の静かで豊かなで田園環境を破壊しています。これがなくなればすばらしい生活環境になると考えます。ちなみに私は福井からの移住者なので特に強く考えます。
- ・地区外から来た人か？個人の家の場所に缶類のゴミが捨てられていた。
- ・コウノトリを見に来るか他の交通マナーがとても悪い
- ・ゴミ捨てポイの旗などを立て見回りも必要だと思う（力のある者の見回りである）

そのほか

- ・街灯が少なすぎて暗くて危ない
- ・選択肢のほとんどが困りごとですね
- ・作物を作っていないのに支払う義務があるのでしょうか。減額とかにはならないのでしょうか。
- ・あまり必要性を感じないから
- ・子供たちが遊べる遊具などを備えた公園や高齢者をはじめ誰もが気軽に集まれて寛げる場所があるとよい、桜堤はよい施設だが集落の中にあってもよいのではないか
- ・水害にならないよう設備を整える。「おーバス」野木駅、野木 HP、ヤオコーへ行ってもらいたい
- ・昔からも風習は、無くすことはないと思うが、今の生活（時間や回数）に合わせていく事も大切。マナーの悪い人には声をかけていくしかない
- ・その他に書かせていただいた土手の草がひどすぎます。現在、車1台しか通れない程。（乙女橋を西に向かって左折部分）毎年この時期に起こることですが、自転車の学生とか車が通ってからになるので見ててかわいそうです。
- ・養豚場からの悪臭、家庭ゴミをいまだに家で燃やしている方がいる、旧思川用水路の整備が全くされていない（上流側）

【6】生井地区以外との関わりについて

(1) 職場や学校に通っている地域



その他に記載

小山、佐野、埼玉県、芳賀町

群馬県板倉町

鹿沼市・日光市・塩谷町・那須町

佐野市、小山市西城南エリア

上三川町、館林、結城市

東京都豊島区、不特定

宇都宮、さいたま市浦和区

佐野市、さいたま市

東京お台場、下都市

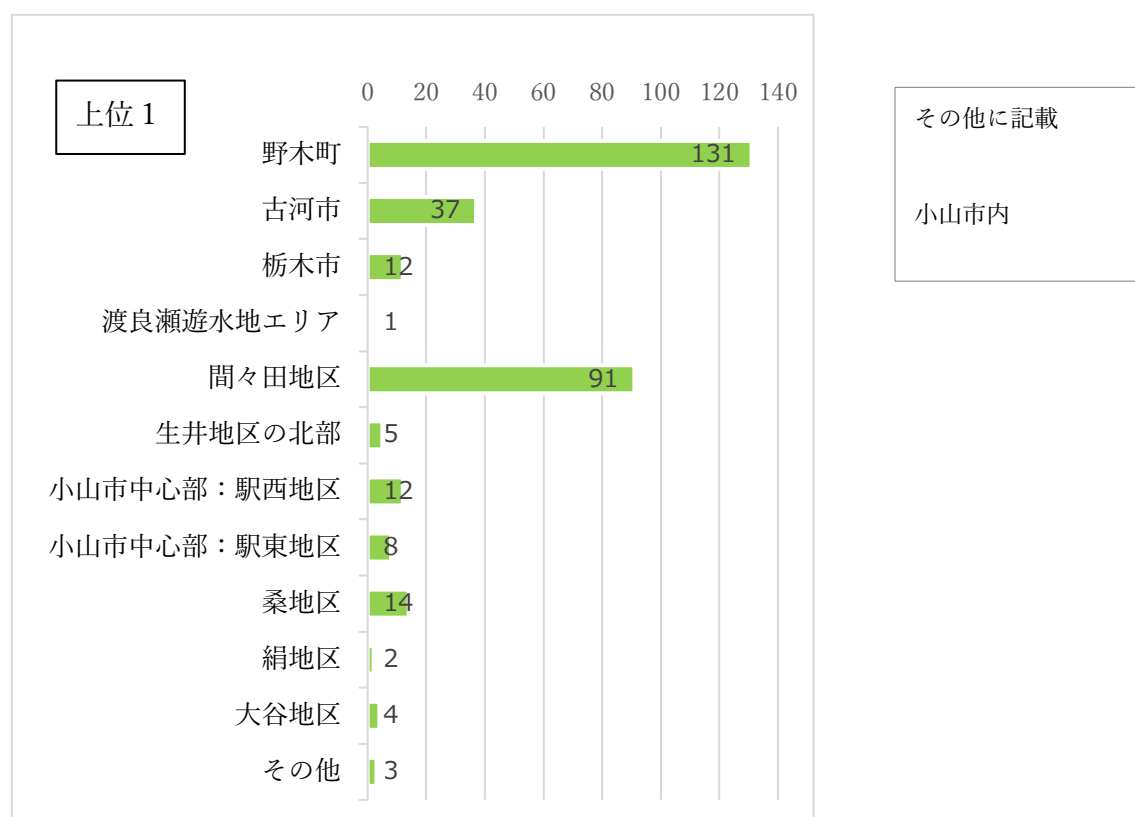
小山市内駅南エリア

佐野、茨城県境町

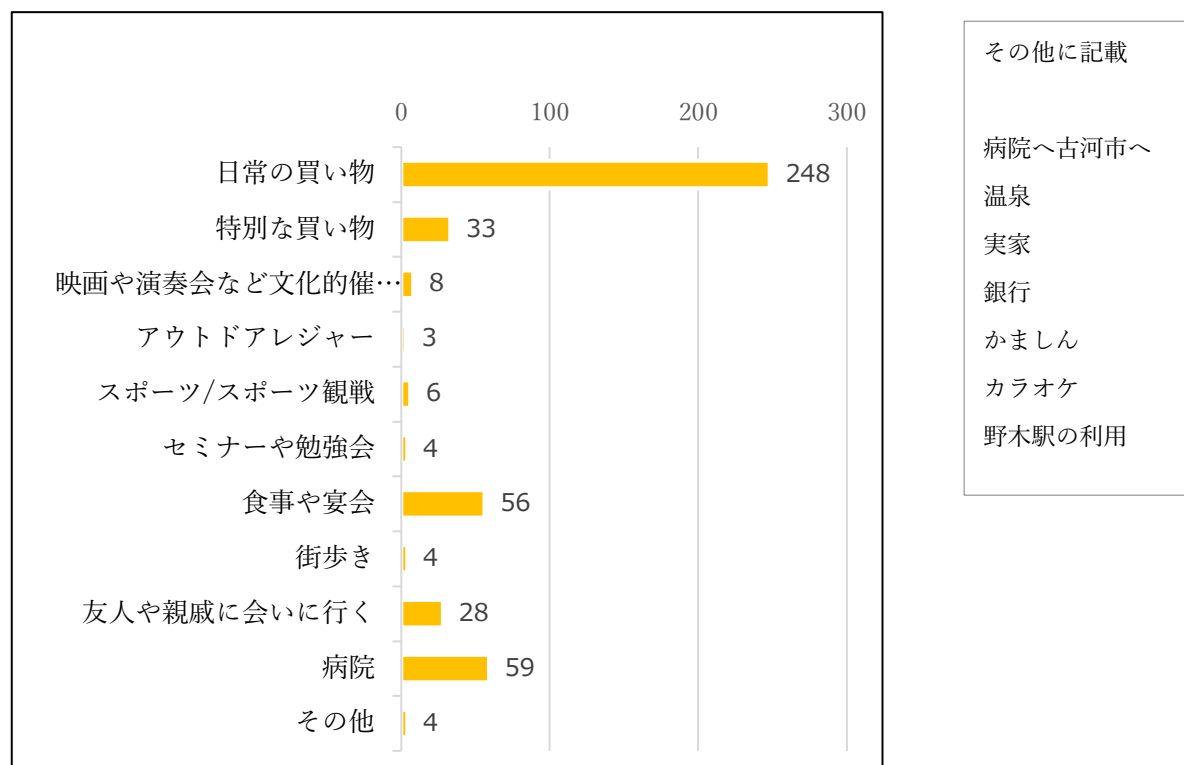
茨城県境町、宇都宮市砥上町

県外、東京、千葉県柏市

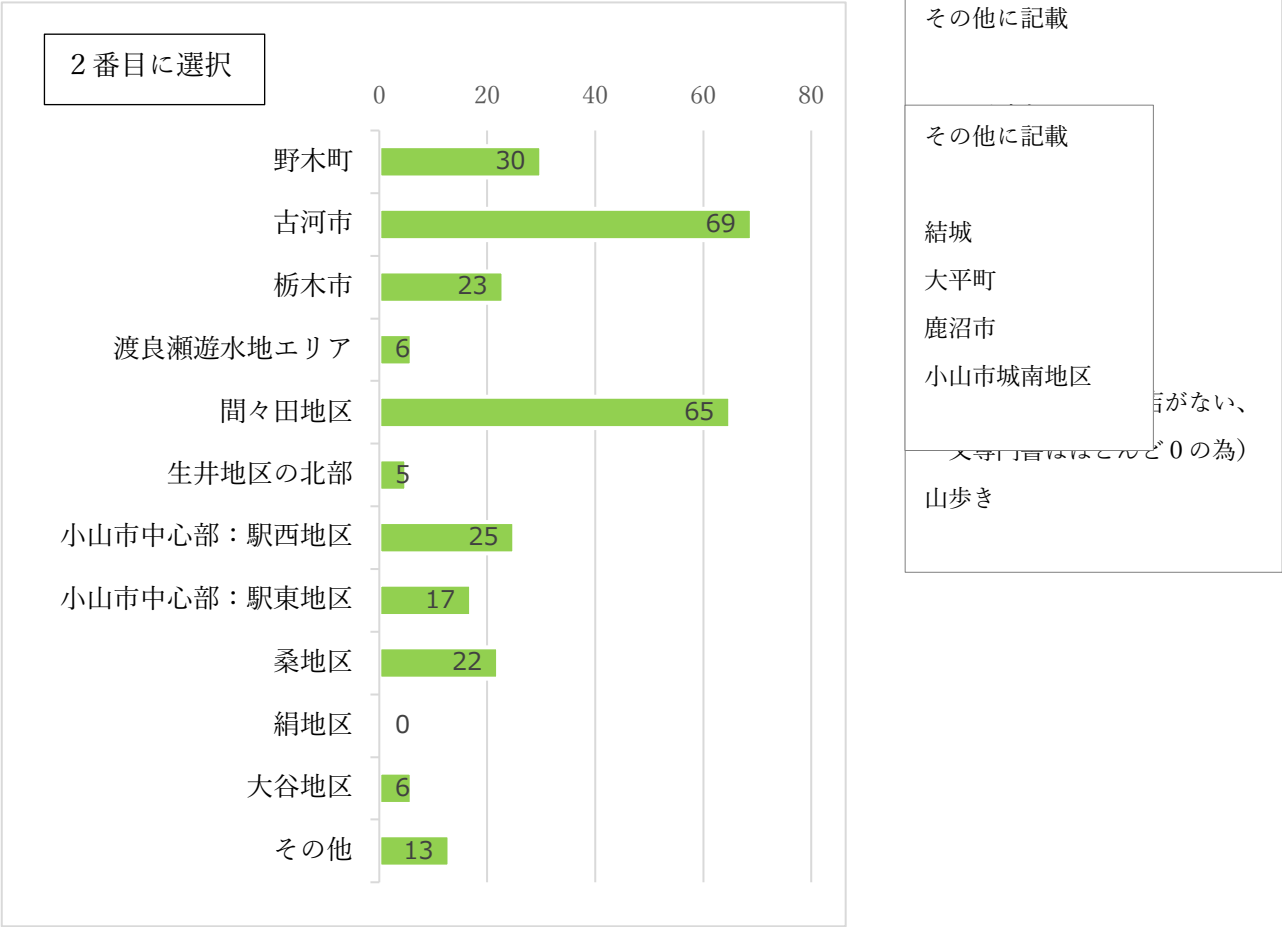
(2) 仕事や学校以外でよく出かける地域（上位2つを選ぶ）



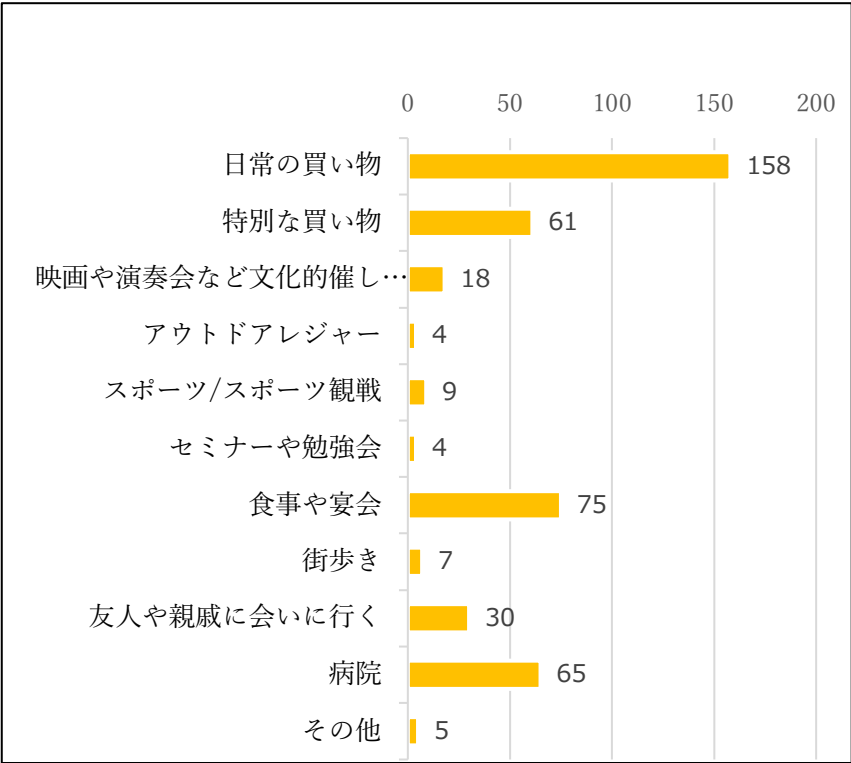
出かける目的（複数回答可）



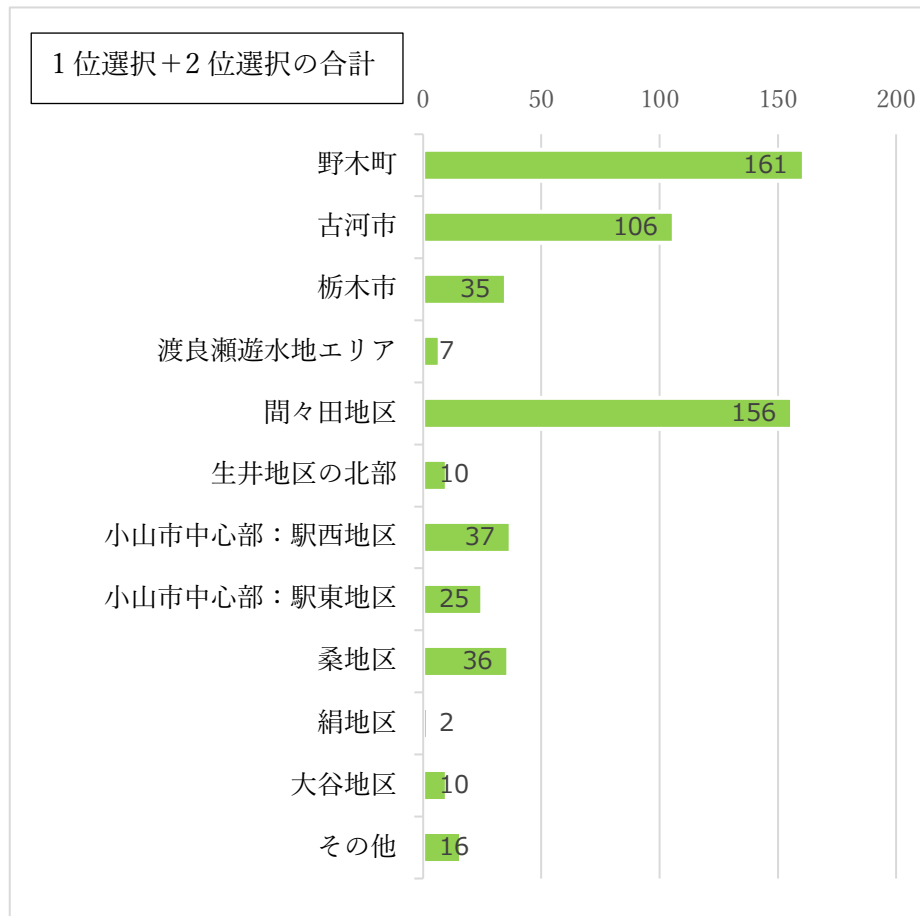
(2) 仕事や学校以外でよく出かける地域（上位2つを選ぶ）



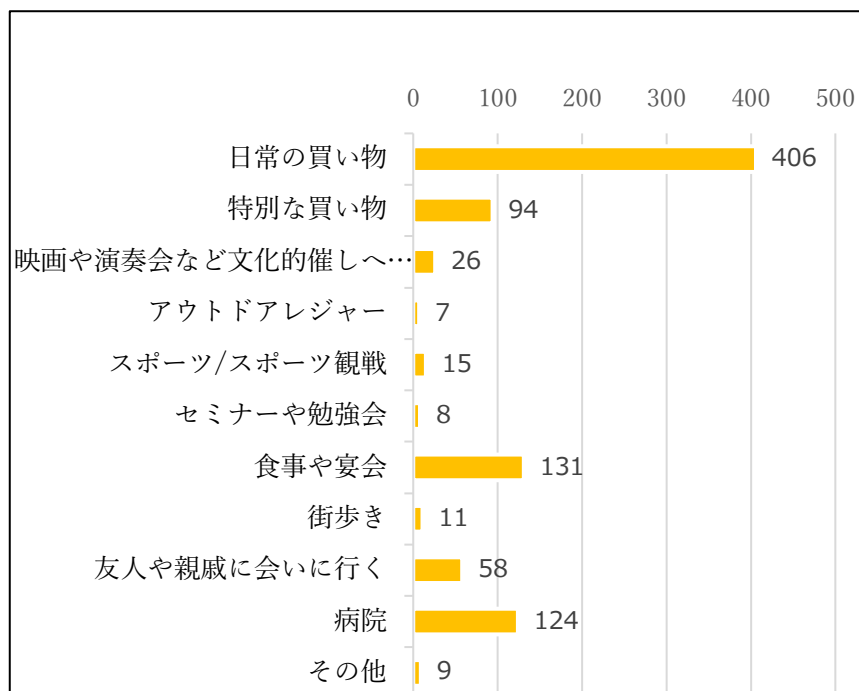
出かける目的（複数回答可）



(2) 仕事や学校以外でよく出かける地域（上位2つを選ぶ）



出かける目的（複数回答可）



【7】 最後に、田園地帯である生井地区に暮らす皆様から、小山市の都市部に暮らす人たちへの希望や呼びかけたいことがありましたら、メッセージを伺います。自由にお書きください。

都市部に暮らす人へのメッセージ

- ・道路のポイ捨てはやめていただきたい
- ・間々田、大谷、小山市中心部の皆さん、水害を不安に思う生井地区には渡良瀬遊水地は大事なのです。
- ・水田が広がる環境、ぜひ出かけて来てほしい。
- ・自然環境や景観を大切にしてほしい。
- ・収入は少ないけど、自然豊かですよ。
- ・子供の人数も少なく、学校へ通うのを楽しみにしている子に同級生が2～3人しかいない学校へ通わせることができますか？大勢の中でもまれて育つからこそ得られるものがたくさんあると思います。生井地区の小中一貫に賛成していただきたいです。
- ・渡良瀬遊水地を訪れていただき、歴史を踏まえて再生した自然の豊かさにふれ、自然環境を守ることの大切さに関心をもってほしい。
- ・渡良瀬遊水地には学ぶ所、見学する所、遊ぶ所など色々あります。コウノトリにも会えるかも！是非いらしてください。
- ・田園風景がよく、コウノトリを（桜つつみ）に足を運んでください。
- ・生井のグリーンパワーを遊びにきてほしい。それには公園がほしい。学校の開放利用ができればいいと思う。
- ・思川兩岸の遊歩道での散歩にチャレンジして下さい。
- ・関東一円の山々が全て(360°)見渡せる生井地区に来て見て下さい。特に思川桜の並木のある「乙女大橋」「綱戸大橋」らの眺望は絶景です。関東平野のど真ん中に居る感が味わえます。季節ごと、朝、夕と色を変えます。
- ・特にありません。この田園地帯をこよなく愛しています。
- ・豊かな田園地帯を大切にするためには、暮らしやすい交通面や道路の整備が必要です。道路が市道でなく、土地改良事業部のものだからと、市が掘り返しながら、防塵舗装さえされてない道路もある。豊かな田園地帯はウォーキングコースとしても重要である。存続をともに考えてほしい。
- ・住むのには自然がいっぱいでしずかで良いと思います。店がないのが欠点です。年をとると車に乗れないので買い物ができない！！
- ・家庭菜園をやりたい人に土地を貸しますよ！
- ・生井地区のお米を是非味わっていただきたいです
- ・自然環境の豊かさ
- ・農業体験から学ぶ衣食住の有難さ、春夏秋冬から始まる事前作業の重要性の体験
- ・春には桜、あんず、菜の花も土手にはたくさんの花が咲きます。ぜひ遊びに来てください。ナマズの天ぷら、モロコの天ぷらも食べられます。
- ・生井地区の珍しい物、自然環境、農産物を紹介して興味を持ってもらいたい
- ・自然豊かな地域なのでぜひお出かけください
- ・地区のPR,例えばコウノトリなど

- ・どこでも同じですが皆ルールやマナーを守ってほしいです。
- ・車のマナーやゴミを持ち帰る等人としてのマナーを守って遊びに来て欲しい
- ・自然環境が素晴らしい
- ・ゴミを捨てていかない等
- ・私は農家ではありませんが農家のみなさんや農作物も国の大切な財産だと思っているので同じ小山市の住民として、そのことを大切に思ってくださいただで幸いだと思えます。
- ・自然環境が素晴らしいところです。
- ・コロナ感染さわぎの中コウノトリ 2 年連続ひな誕生のホットニュース。連日堤防には他県ナンバー車も含め車がびっしり。何人の方達がいやされた事か。時には母鳥が亡くなり、ひな 1 羽も無くなり、その度涙を見せながら手を合わせたり花をそえてくれたり私たち地元の者には頭が下がります。そしてコウノトリ様々毎年ひな誕生を願っています。
- ・水害のない地域がうらやましい
- ・田舎の自然環境を大切にゴミは持ち帰ってほしい
- ・空地になっている畑が多くあるのでここで色々な野菜を自分のために作る——小山の道の駅を一応参考にして?? 内容についてはその人に合わせて
- ・暮らしはとても不便なところです。医、移動、学、食、水害、付き合い、その他いろいろあります。
- ・渡良瀬遊水地に遊びに来て欲しい。自然の雄大なことがわかる
- ・自治会内の道路の狭いスピードを落として走行、遊水地周辺のゴミの持ち帰り
- ・小規模学校で学ぶ良さを知ってほしい
- ・桜堤でのイベントや「渡良瀬子ども自然塾」への参加などで生井の田園風景と遊水地の自然環境を体験してもらいたい
- ・不便なところもあるけど、昔ながらの仕事をみんな大切に守っている地域だと思います。
- ・マナーなどは守るのが大事です。気を付けてきてください。・子育てはしやすいところだと思います。
- ・都市部の人達はコウノトリの事、あまり知らないと感じました。少し行くだけで豊かな自然、景色がみられのて息抜きに近くてとても良い所だという事をぜひしてほしい。
- ・コウノトリ自然豊かでお米がおいしい生井地区へおでかけください！コロナが早く終結すると良いですね！
- ・生井地区を都市部に自然環境が豊かな地区であることをもっとアピールしてほしい
- ・水害時には暖かいご支援をお願いします。
- ・町でできない田畑仕事やってみたい人一緒にどうですか？
- ・生井地区の米を食してほしい
- ・うらやましい

不満や不安

- ・交通の便が悪い
- ・都市部と地域差がありすぎる。
- ・日常生活全てに不便。車の運転できない人困難多い。
- ・特定の人たちにしか利権や役が回ってこなく田舎の象徴です

- ・家の近辺にお店がなくなりました。・私たちの子どものころには駄菓子屋などが各地区に数件ありました。
- ・工業団地ができ、バスが通るようになったと聞き、住む様になったのですが、デマンドになり、毎日の通勤ができなくなるので引っ越しを考えています。水害が心配で、避難する家もなく、不便な所です。何しろ不便な所です。車がなくては生活のできない所をどうにかして考えてほしいです。
- ・都市部の人たちと言うよりも、小山南工業団地に勤める人たちが全く地域に溶け込んでいない。会社の代表の人たちも自治活動に非協力的である。
- ・小山市の人たちよりも他県ナンバーの車がコウノトリを見に来て、車のすれ違いが出来ない農道に車をとめているのが見られるのでやめてほしいと思います。市内の人もいると思いますが。

市への提案や要望

- ・おーバスでのアクセスがすごく悪いです。私は現在車で移動はできますが、これから先5年10年20年後の将来を見届けた時、自分自身の健康はどうなんだろうと考え悩みます。かなりの高齢になっての運転は重大事故となり発生へと繋がっていきます。私個人でも年2回市民病院にて眼底眼圧検査に行っていました。当日運転不可。数年前デマンドバスを利用しておーバスでの行き帰りとても不便さを感じました。体力的にも疲れしました。お若い方々も含めて地域の皆さんがバスでの利用の良さを知っていただけるようにアピールしていただけるように。生井地区、綱戸地区でのバスでの小山～生井地区綱戸地区路線を広めていただきたいと思います。市民病院行きへの経路を見直してみてください。
- ・自治会要望書、市道整備について早期の完成をお願いいたします。

工事概要

- 1、平成24年度要望書提出。
- 2、平成30年度工事一部着工
- 3、平成31年度工事一部着工
- 4、令和2年度工事一部着工
- 5、令和3年度工事一部着工

以上工事が半分以下の進捗状況です。

- ・2月の芝焼きの時、思川の河川の雑草をぜひ焼却させてほしい。
- ・生井、綱戸地区に永住しやすくする為5又は10年以上居住する家族には市県民税等軽減すること。
- ・市内の子どもたちを遊水地で学んで貰う努力が必要かな
- ・遊水のボランティアガイドをしていて、子供たち（小3～4）に聞くと来たことがあると答える子供は4～5人（30人の内）知る→訪れる→好きになる→保存。まず遊水地を知る。美味しい米を知る。歴史を知るから始める。また子供達が再度訪れたいような場所と施設の整備が急がれる（ぜひ防災についての教育の場として各所連携していきたい）
- ・子供が生井地区に住みたくない理由の一番は台風などで堤防が決壊しての水害です。安全安心のある住みよい村にして欲しい。
- ・路線バスの運行、デマンドバスの見直し
- ・遊水地の広々とした風景は美しい貴重なものです。小山市のみならず、日本の財産です。特に冬の富士山は美しい。この自然環境を何としても守り伝えていきたいものです。遊水地の商業利用には反対です。優良米の産地である生井地区の農業も合わせて継続して欲しい
- ・県外、野木町からの路線バスも考えてほしい・ショッピングモール、コンビニなども作ってほしい

- ・堤防沿いの農道が砂利道なので舗装道路にして欲しい。散歩がしやすい。
- ・生井地区の人員を増やすためには住宅を外部の人が建てられる法律にしてください。
- ・生井地区内の道路整備をしてほしい
- ・小さくても良いからお医者さん、家には年寄りしか残っていません。車にも乗れません。いざとなったら…と考えると悲しくなります。近くに色々なものが置いてあるお店、年寄りでも食べたいものが置いてあるお店、一人でたまには行きたいです。若い人は勤めているから、そして疲れて帰って来るから頼みづらいのです！
- ・遊水地内の調節池周辺に植栽をしては、あやめ・レンゲ等
- ・生井地区の PR を広報などでシリーズ形式により掲載しもっと現状を見てもらいたい
- ・遊水地の草刈り掃除が大変だと思いますが保存して守ってほしい
- ・道路歩道の整備をもっとよくしてほしい（地域の中まで）公園等を作ってほしい。夜も歩けるように街灯も付けてほしい
- ・思川をはさみどうしても小山以外の他の地区と思いがちになっていると思う。思川の東地区の発展が進みすぎている。昔は昔ながらの考えで別の地区と考えられている。やはり小山市の各地区のアピールが各々これからは必要になると思います。
- ・アンケート（中身）理解できません

生井地区「持続可能なまちづくり」に向けたアンケート 集計結果_2 属性との相関

設問【2】 生井地区の歴史や地域資源についての認知度

同 関心度

設問【4】 大切に守っていききたいと考える生井地区の「小さな自慢」

設問【5】 解消したい生井地区の困りごと

以上の設問において

設問【1】 の回答から下記の4種類の属性で、それぞれグルーピングを行い相関をみる集計を行った。

1 | 年代別

20代は回答者が1名につき割愛。

①30代 ②40代 ③50代 ④60代 ⑤70代以上

2 | 職業

①農業従事者（専業・兼業） ②非就農者

3 | 自治会やPTAなどの地域活動の経験の有・無

自治会、消防団、PTAなどの選択肢から複数回答可で経験があるものを選ぶ設問。

①選択がない(0) ②選択が1つ以上

4 | 生井地区との地縁

①生井地区で生まれて一度も外へ出ていない人

②生井地区で生まれて一度外へ出て、Uターンした人

③小山市内の他地区で生まれて移り住んだ人

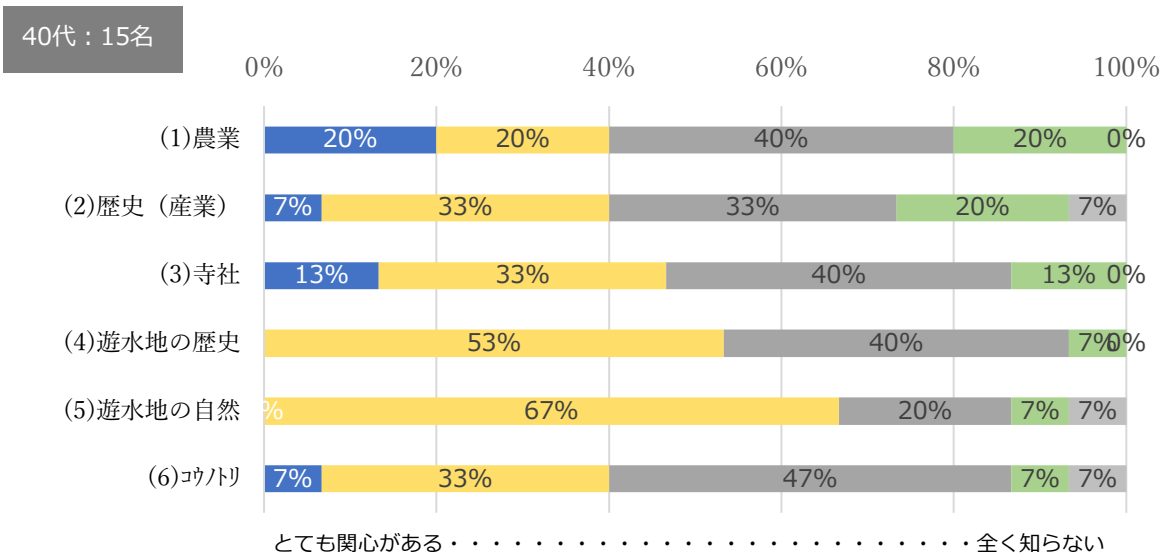
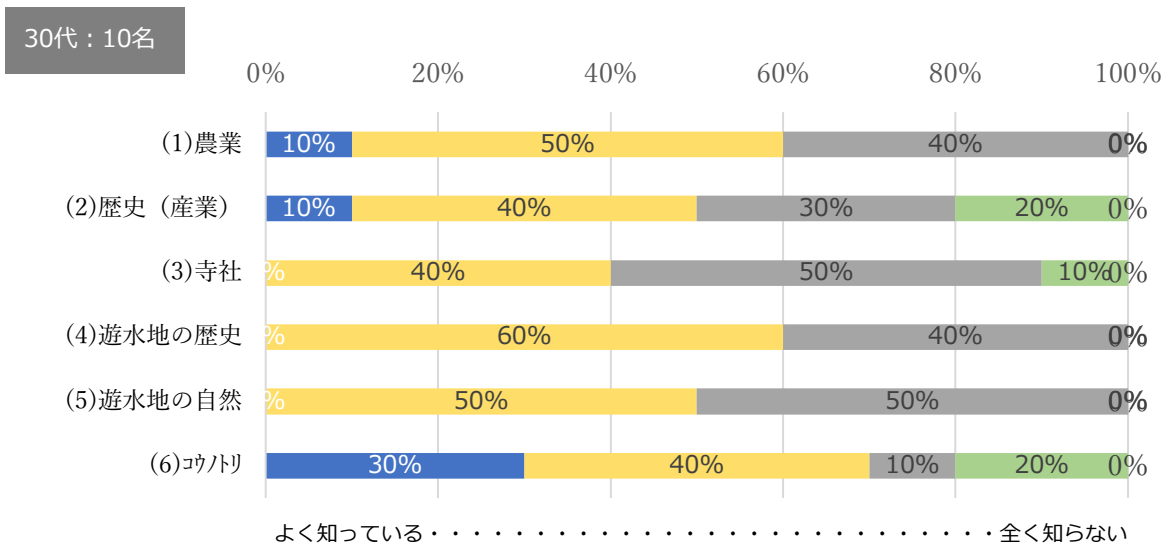
④小山市外・栃木県外で生まれ育ち、移り住んだ人

1 | 年代別

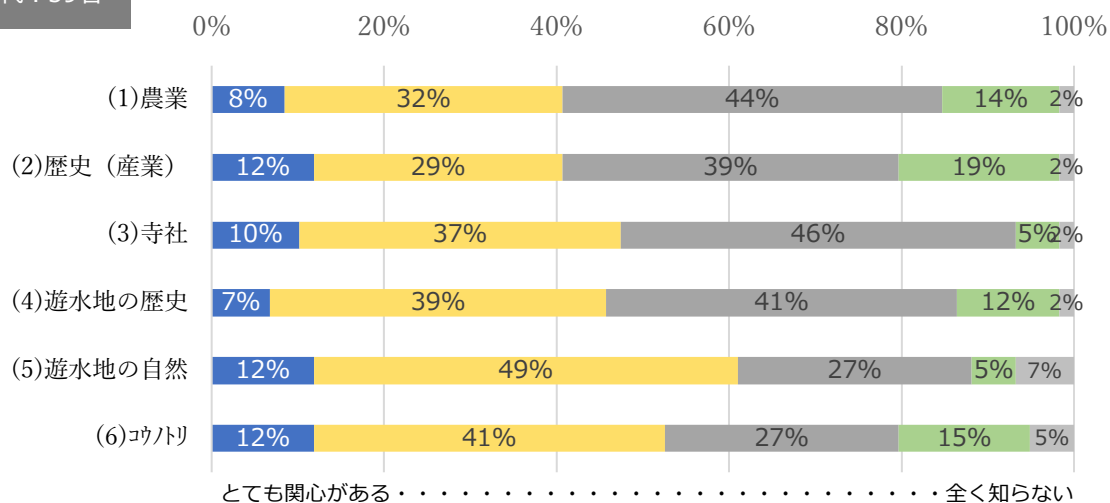
20代（1名） 30代（10名） 40代（15名） 50代（59名） 60代（125名） 70代以上（180名）

【2】A 生井地区の歴史や地域資源についての認知度

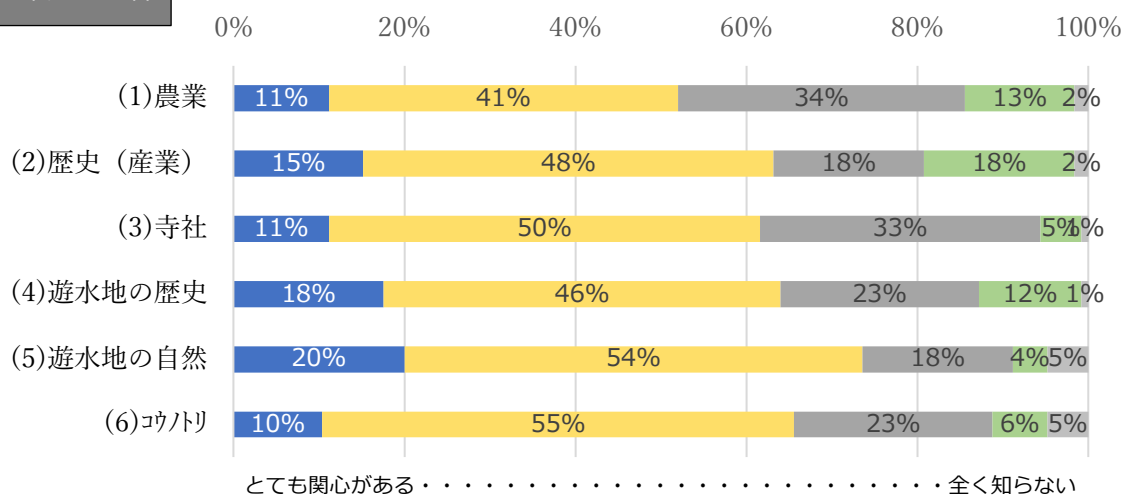
■よく知っている・・・ ■まあまあ知っている・・・ ■あまり知らない・・・ ■全く知らない



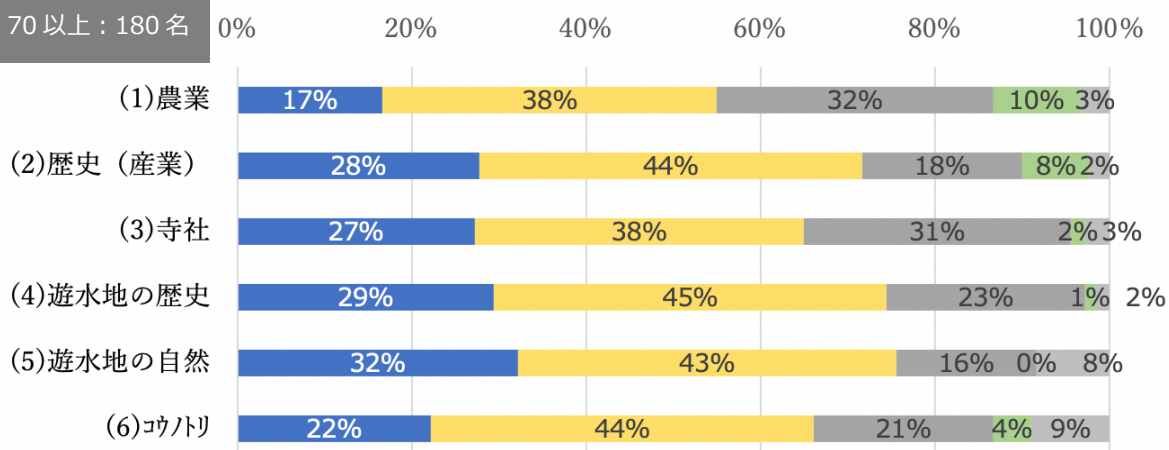
50代 : 59名



60代 : 125名



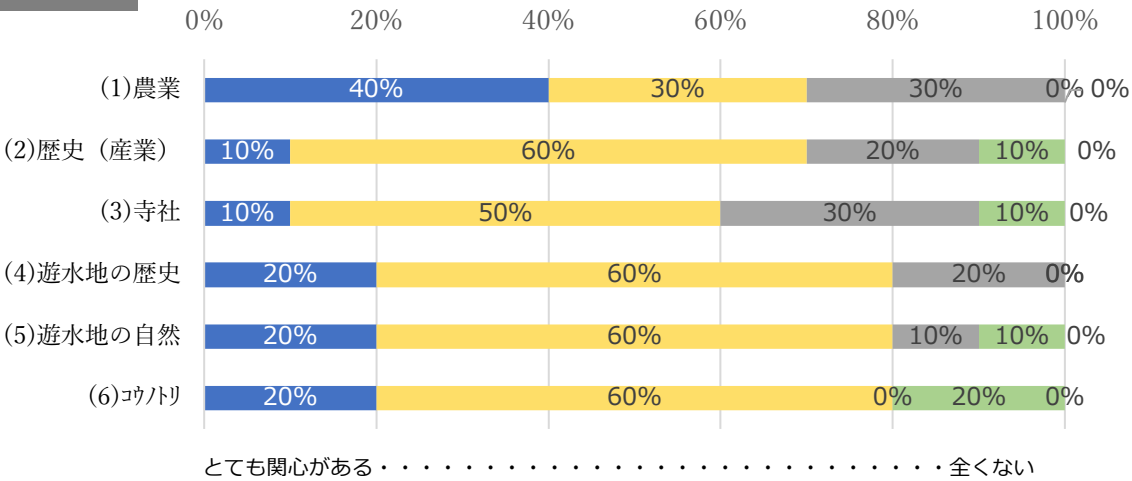
70以上 : 180名



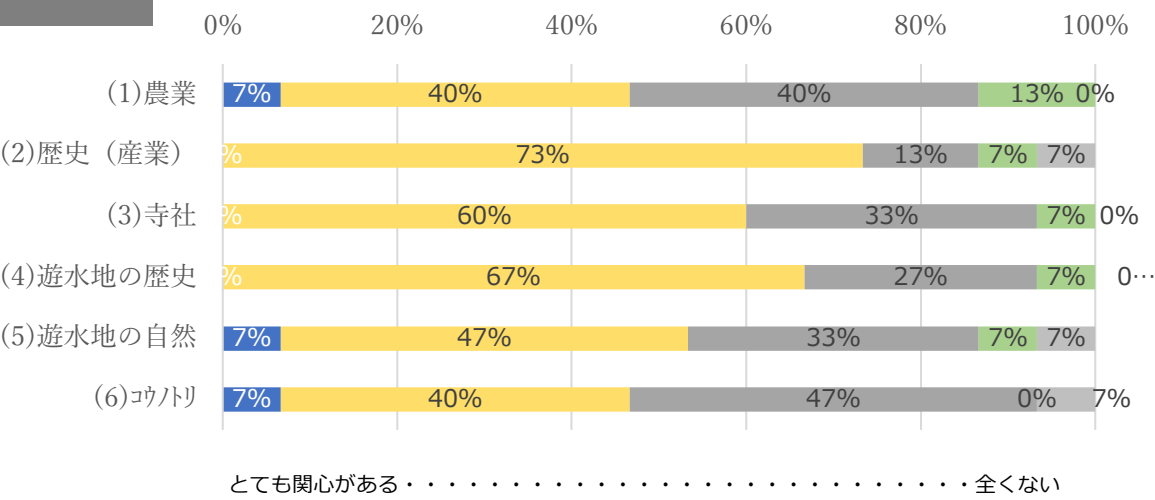
【2】 生井地区の歴史や地域資源への関心度

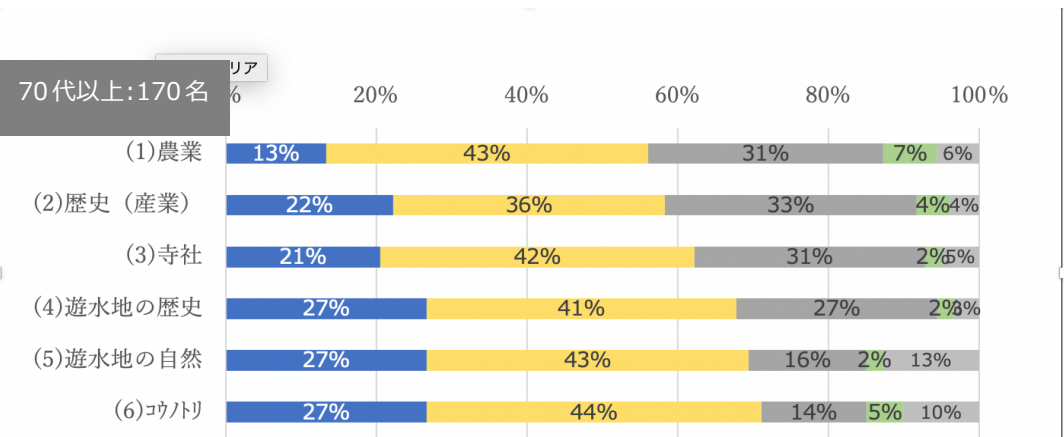
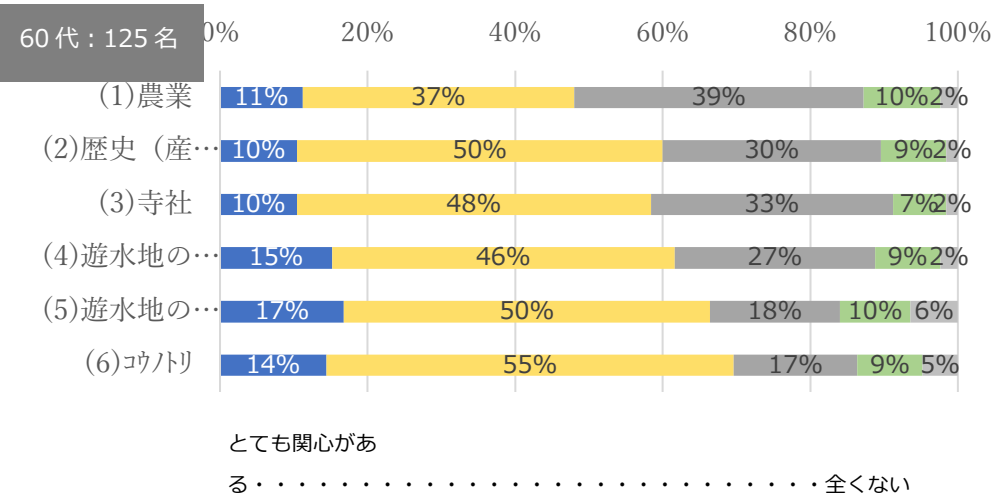
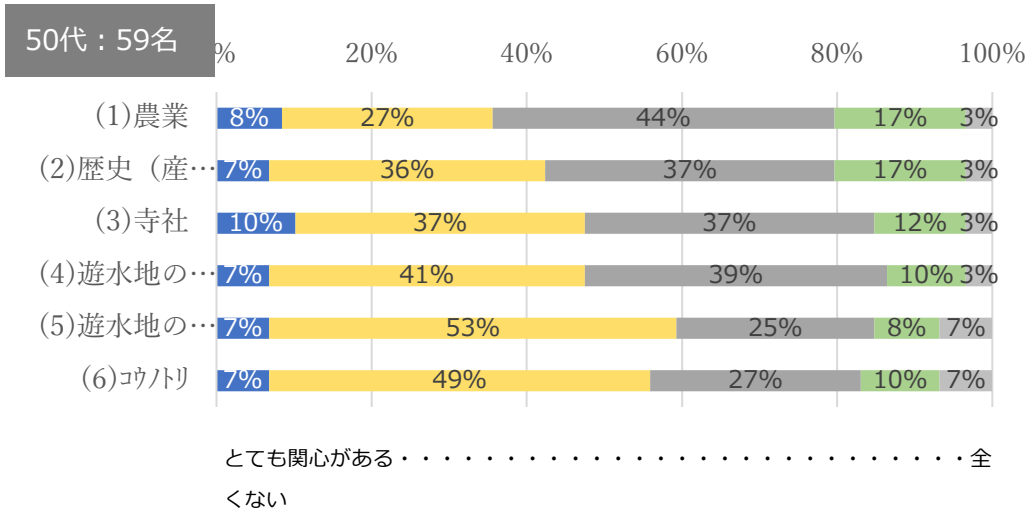
■とても関心がある・・・■まあまあある・・・■あまりない・・・■全くない

30代：10名



40代：15名





【4】 大切に守っていききたい小さな自慢 * 3つ選択

30代 : 10名



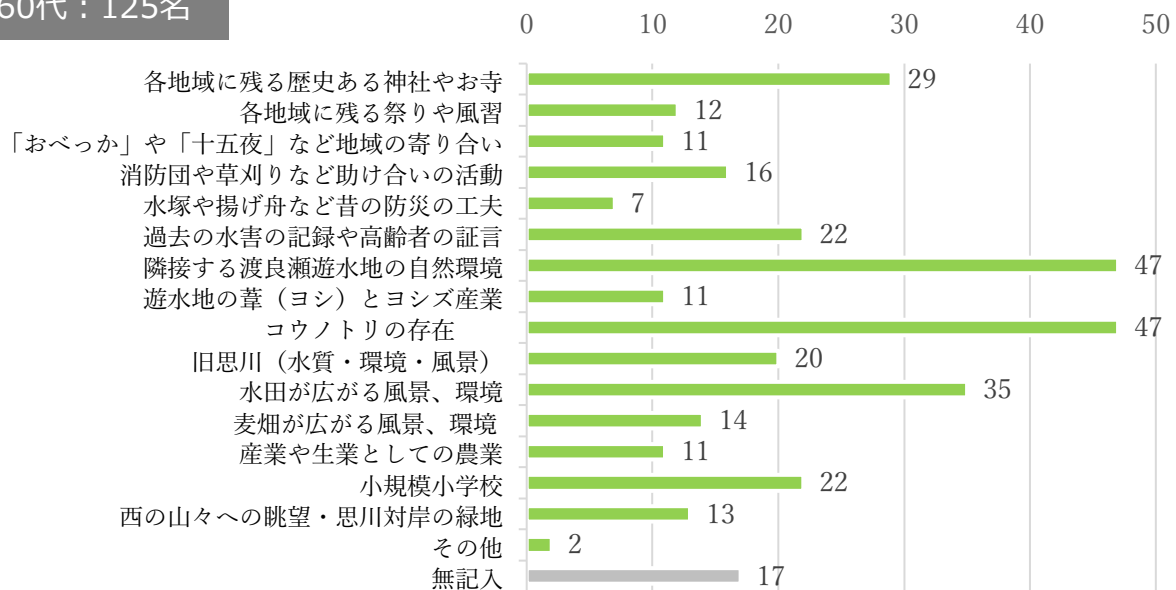
40代 : 15名



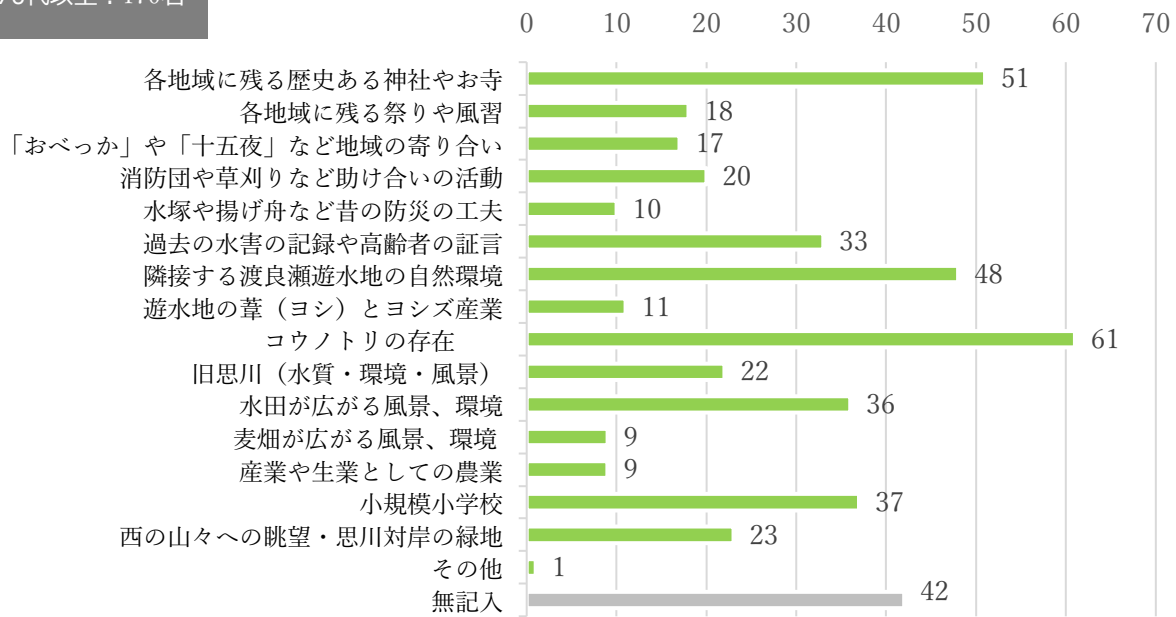
50代 : 59名



60代 : 125名

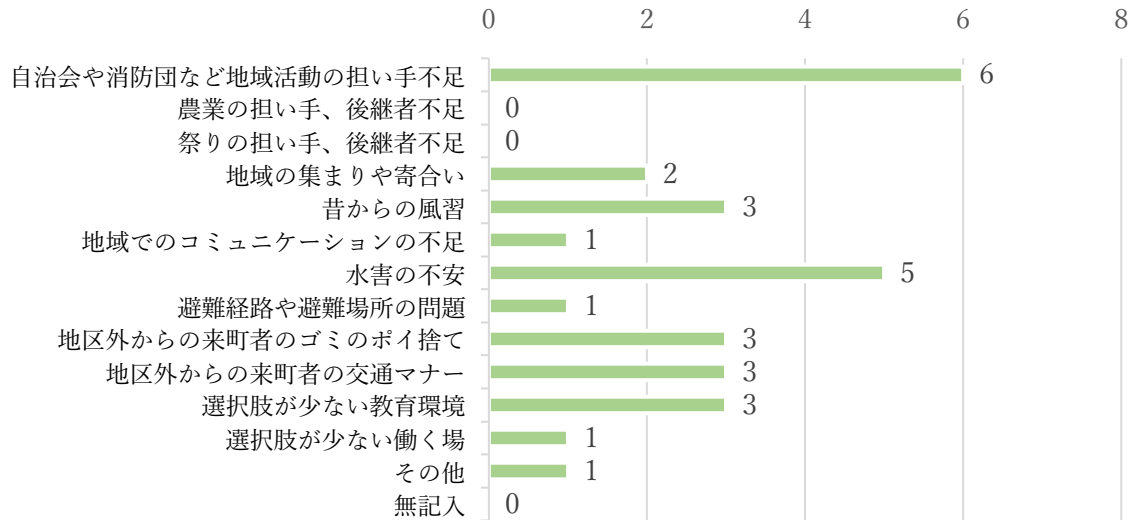


70代以上：170名

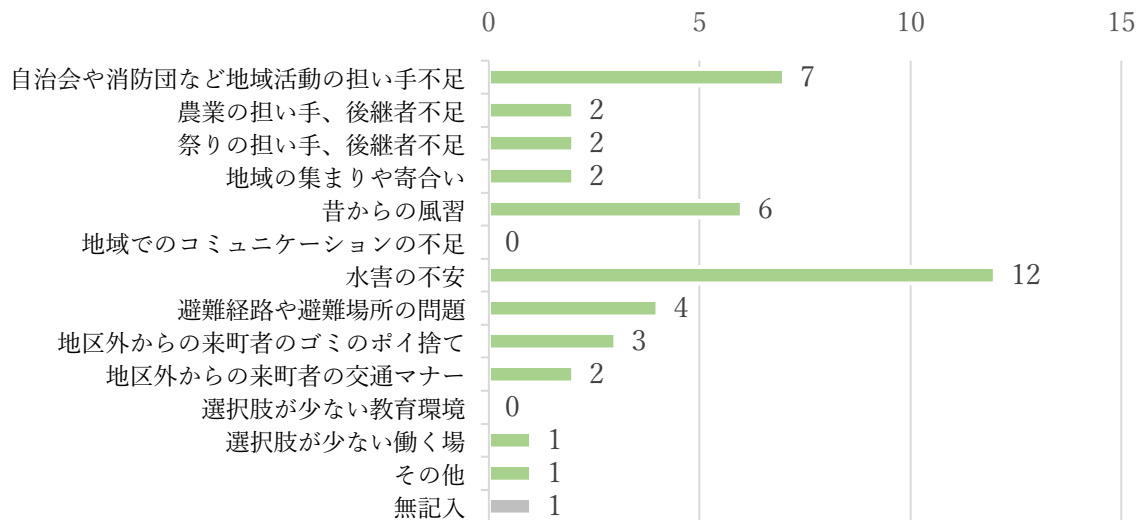


【5】生井地区の困りごと *3つ選択

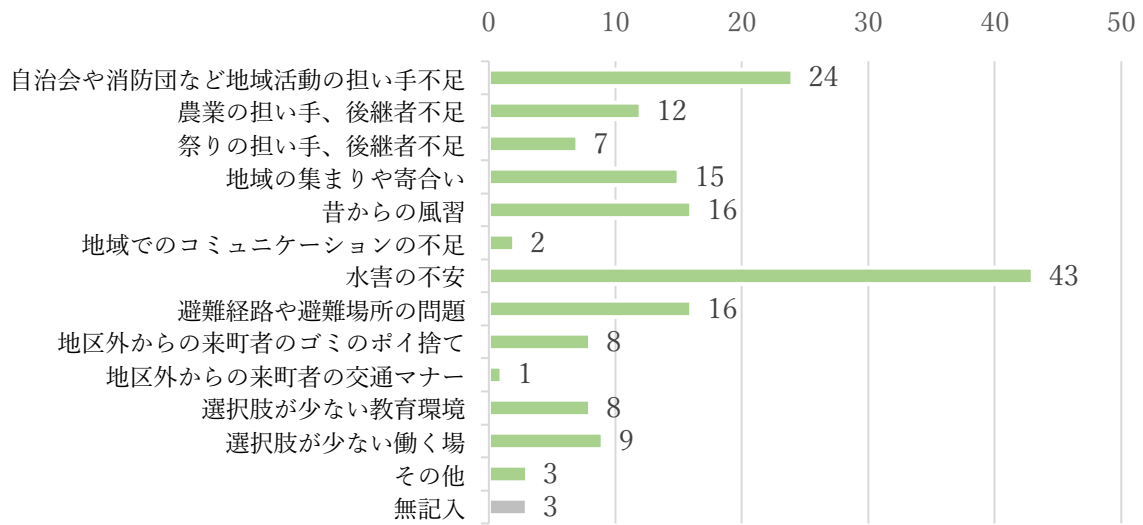
30代 : 10名



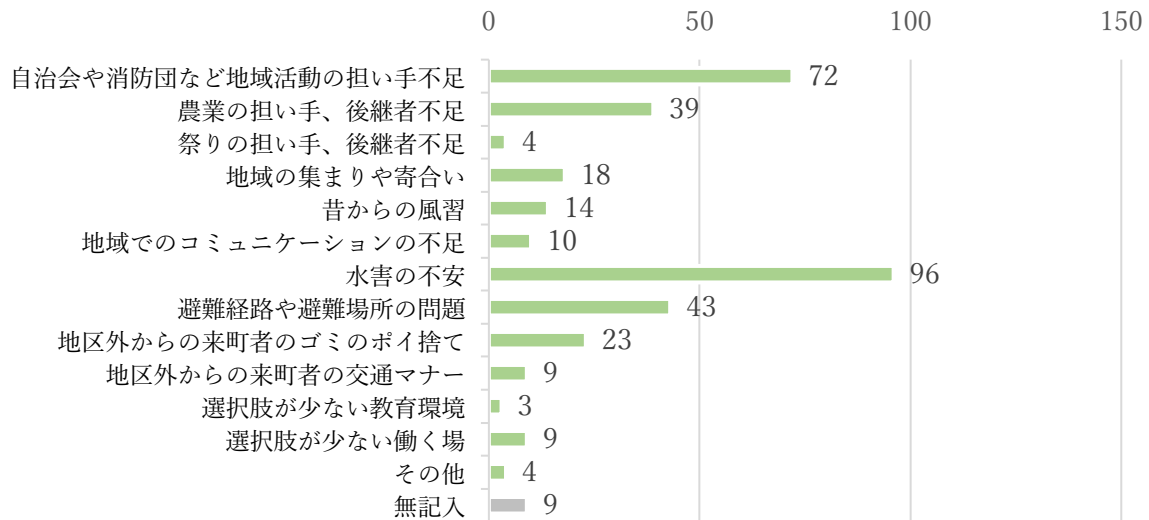
40代 : 15名



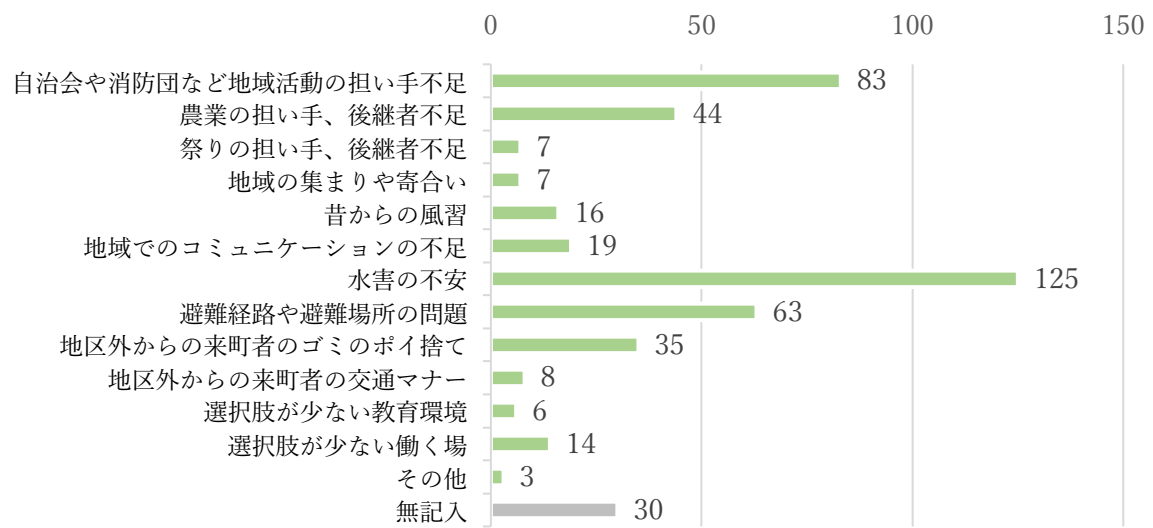
50代 : 59名



60代 : 125名



70代以上 : 180名



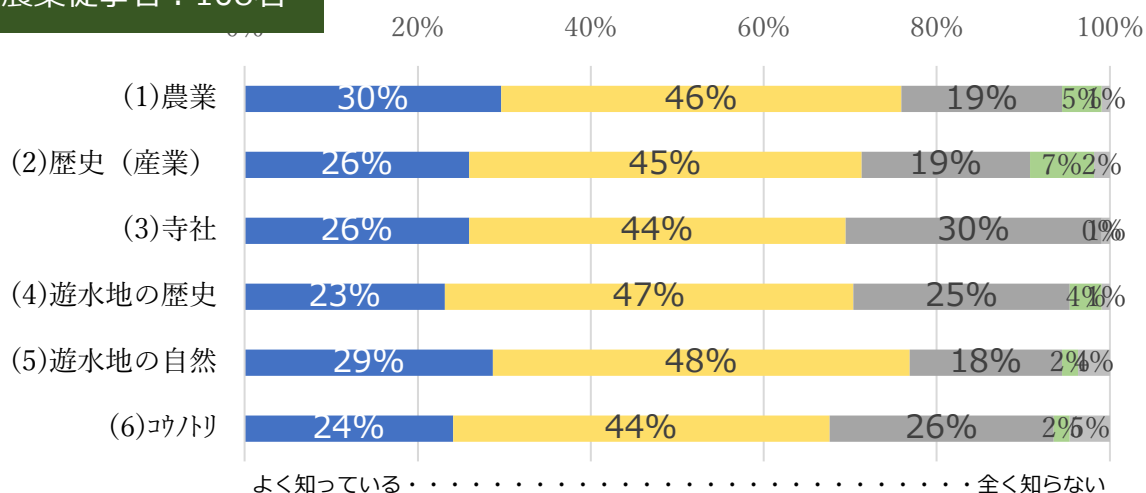
2 | 農業従事者（専・兼）と、非就農者の比較

設問【1】03 職業での回答を元に、農業従事者（専業：54 名、兼業：54 名）と、それ以外（会社員・公務員員・自営業など：296 名）で、集計を行った。

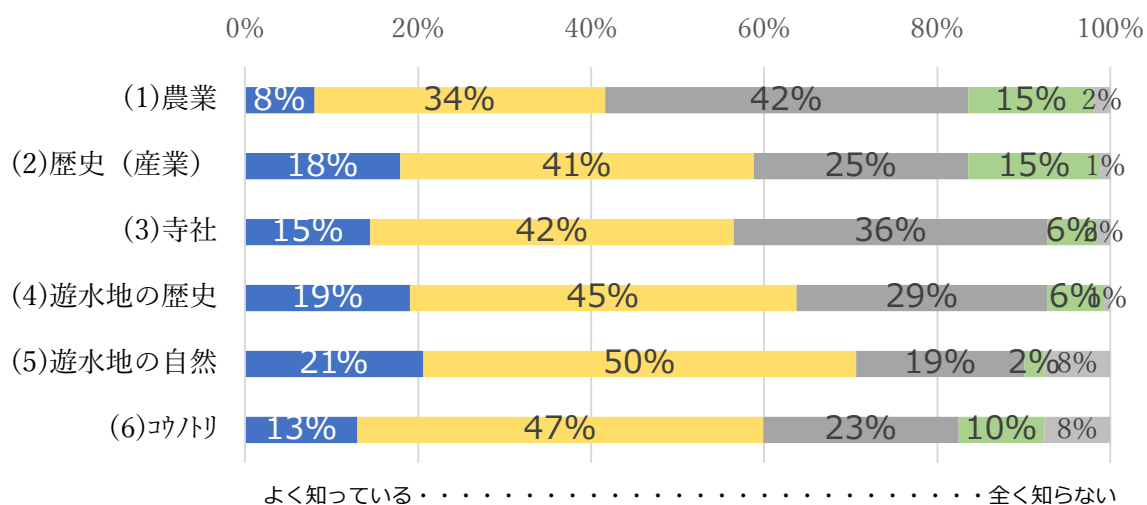
【2】A 生井地区の歴史や地域資源についての認知度

■よく知っている・・・■まあまあ知っている・・・■あまり知らない・・・■全く知らない

農業従事者：108名



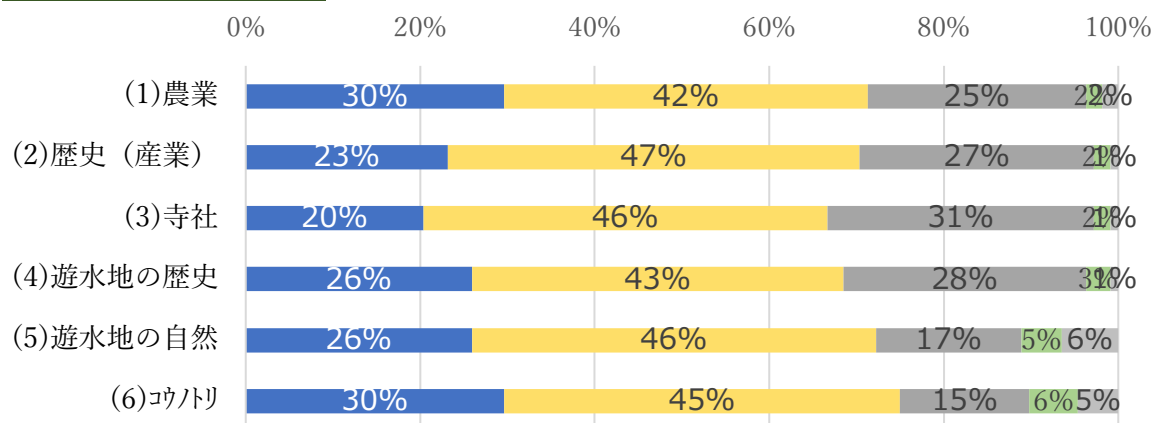
非・就農者：296 名



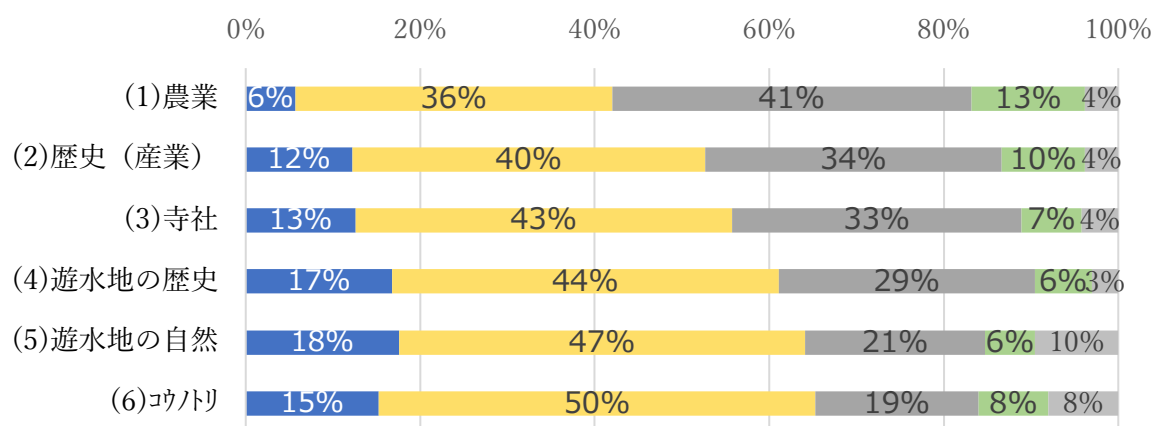
【2】 生井地区の歴史や地域資源への関心度

■とても関心がある・・・■まあまあある・・・■あまりない・・・■全くない

農業従事者：108名

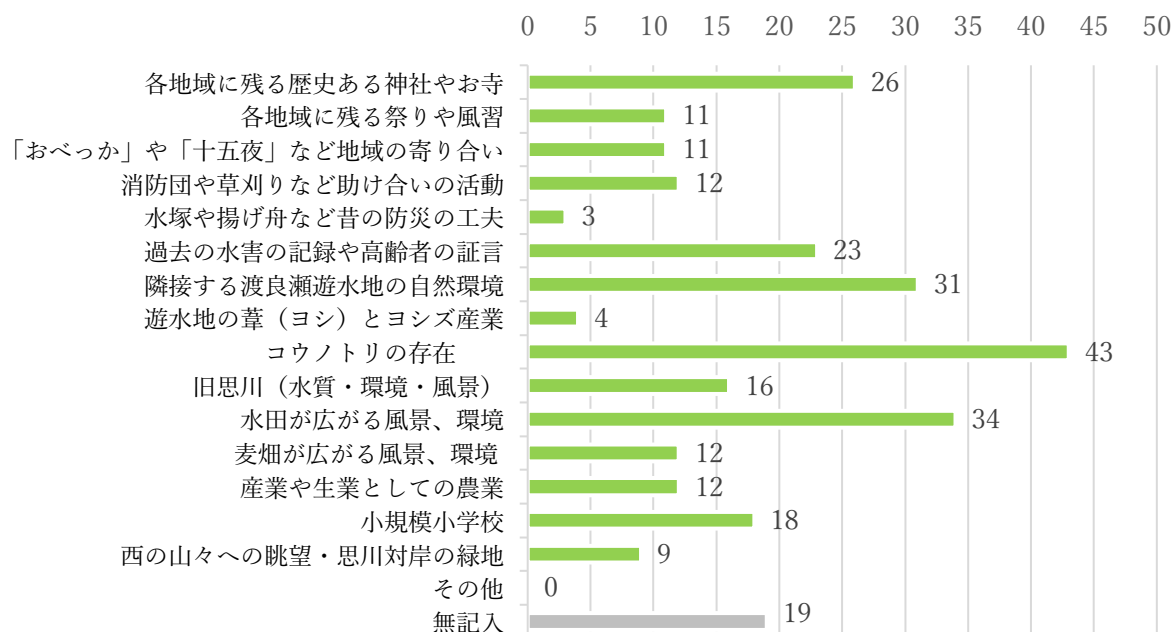


非・就農者：296名

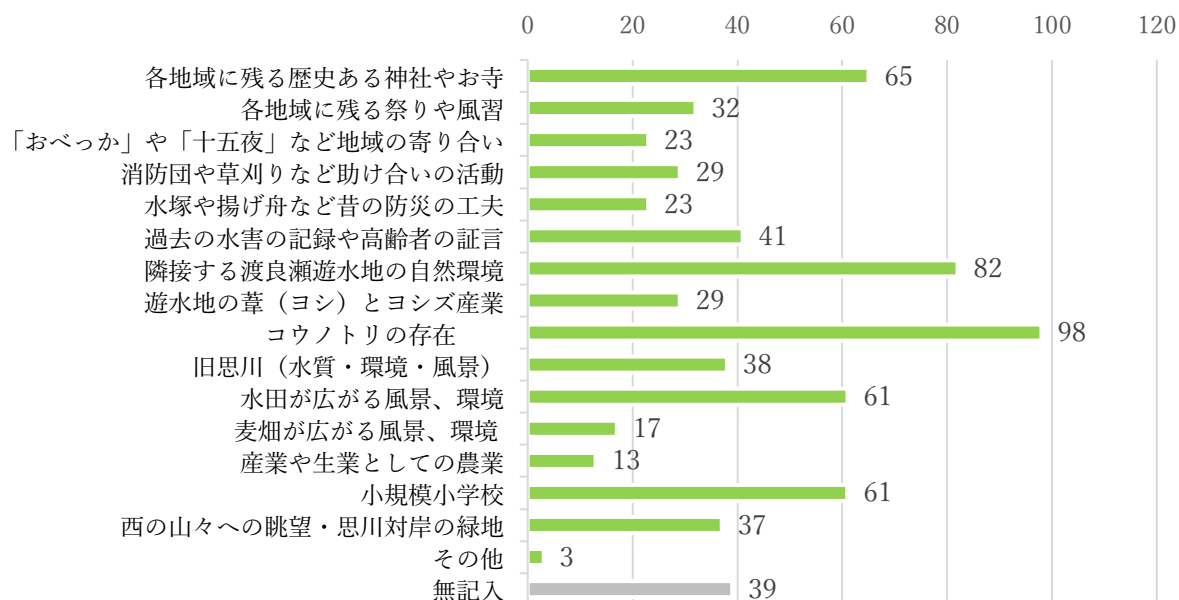


【4】大切に守っていききたい小さな自慢 * 3つ選択

農業従事者 : 108 名

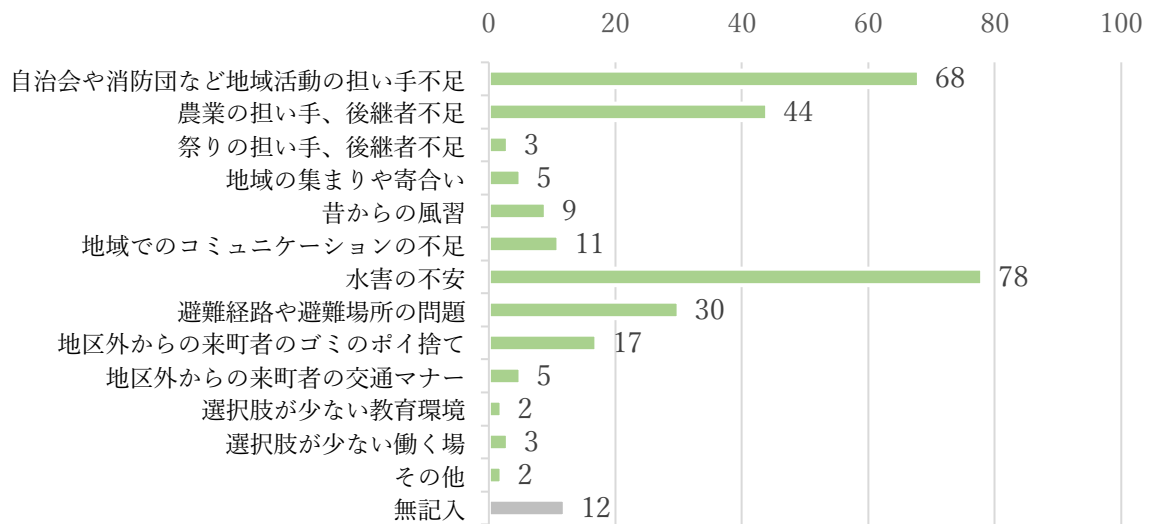


非・就農者 : 296 名

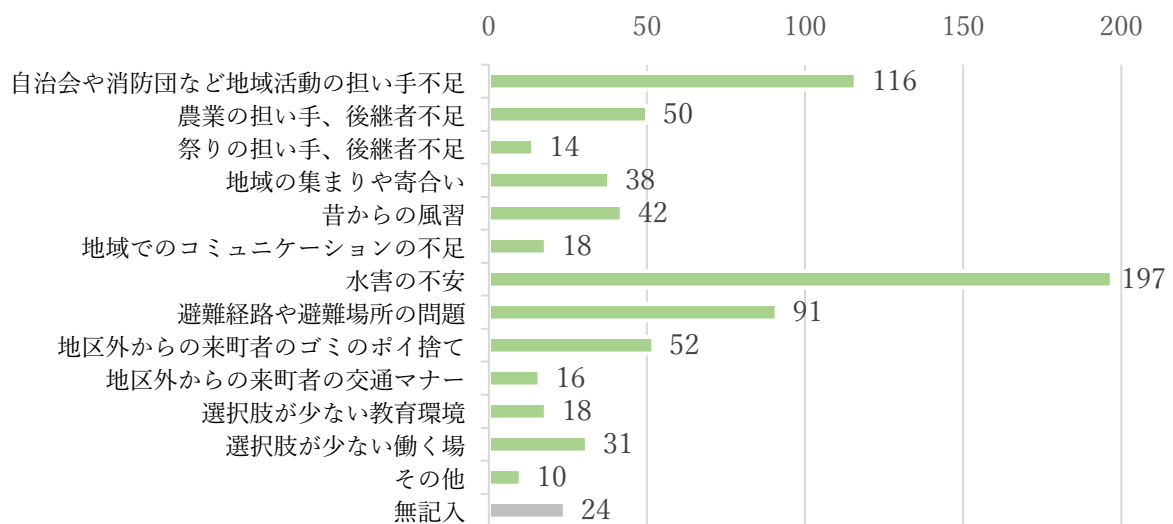


【5】生井地区の解消したい困りごと *3つ選択

農業従事者：108名



非・就農者：296名



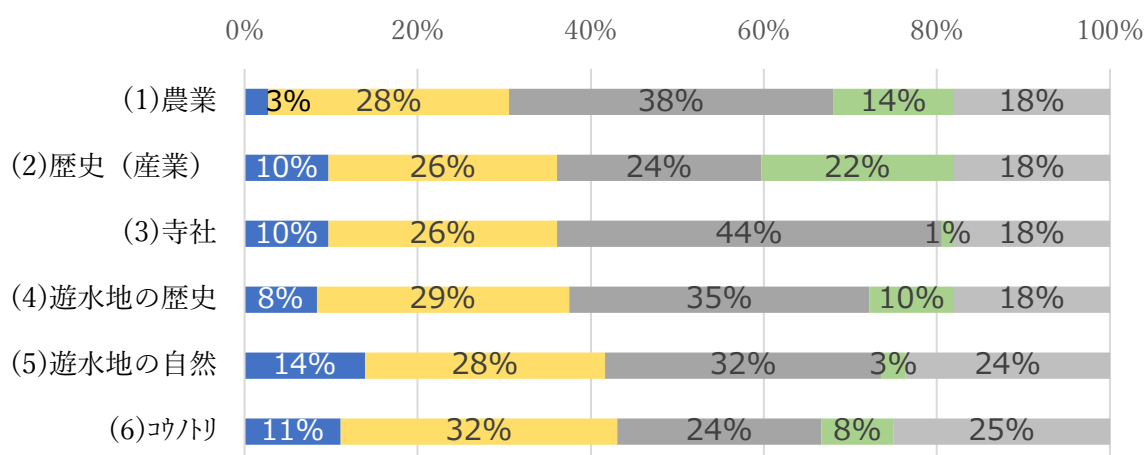
3 | 地域活動の経験 有・無 での比較

設問【1】5の地域活動の経験を選択肢から選ぶ（複数回答可）回答を元に、地域活動経験無し（72名：選択がゼロ）、経験有り（332名：選択が1以上）に分けて、集計を行った。

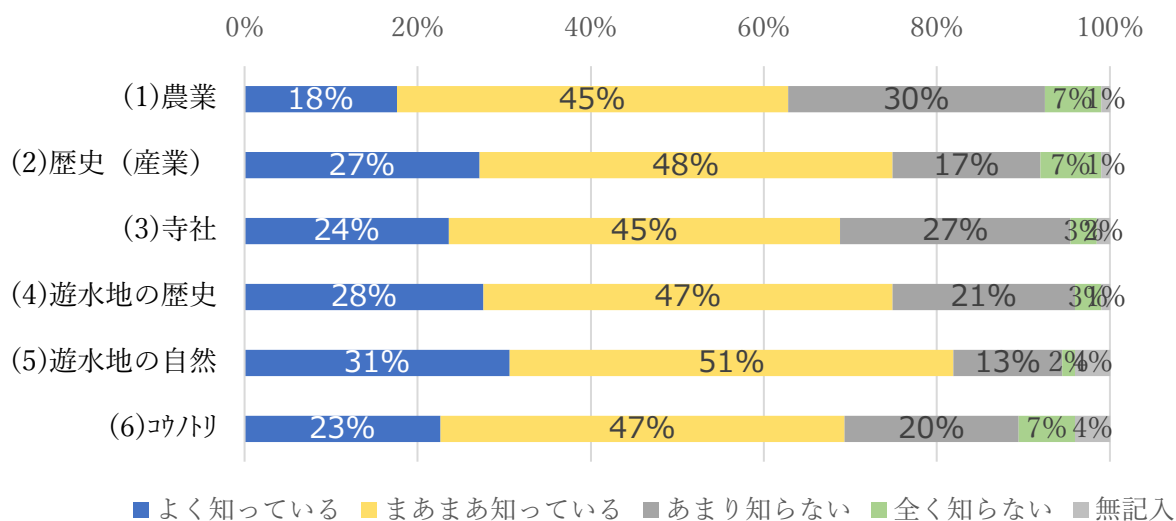
【2】A 生井地区の歴史や地域資源についての認知度

■よく知っている・・・■まあまあ知っている・・・■あまり知らない・・・■全く知らない

経験 なし：72名



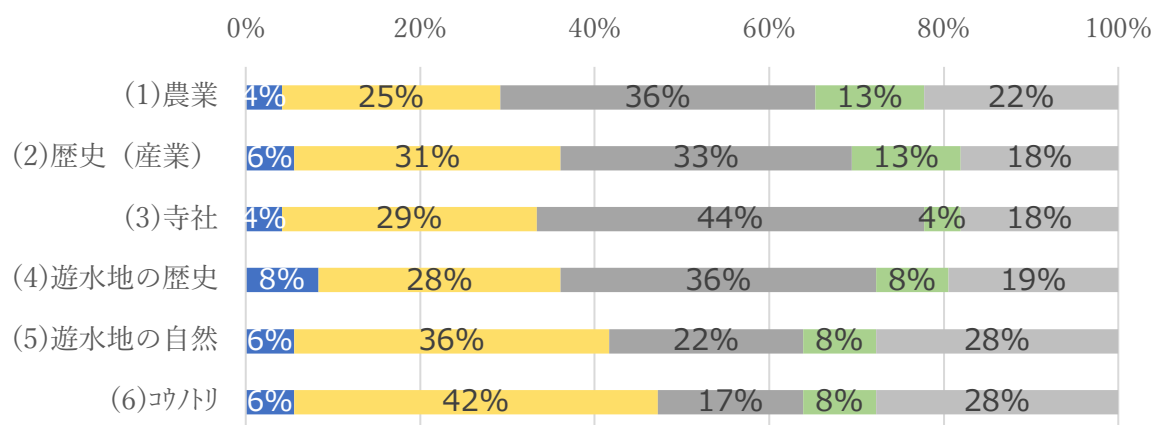
経験 あり：332名



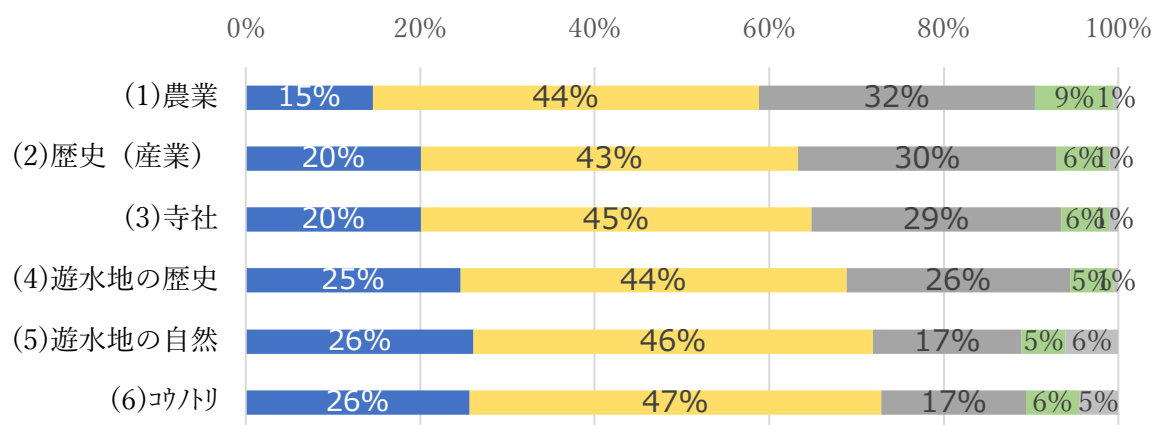
【2】 生井地区の歴史や地域資源への関心度

■とても関心がある・・・■まあまあある・・・■あまりない・・・■全くない

経験 なし：72名



経験 あり：332名

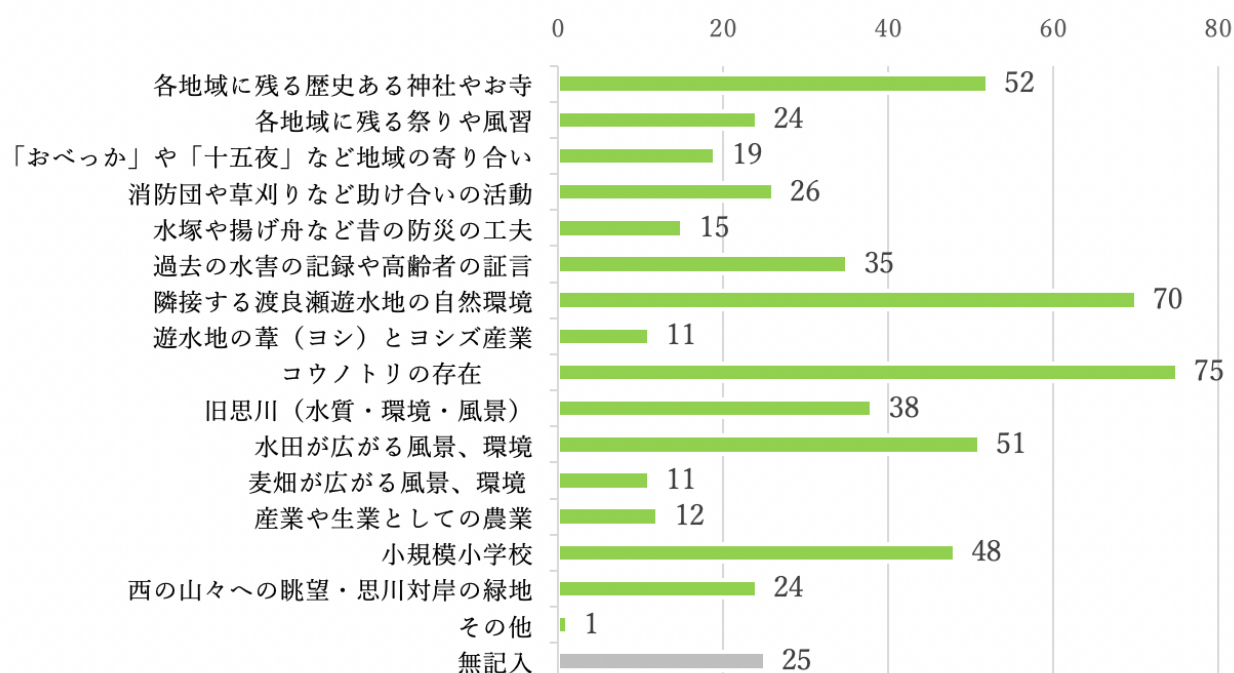


【4】大切に守っていききたい小さな自慢 *3つ選択

経験 なし : 72 名

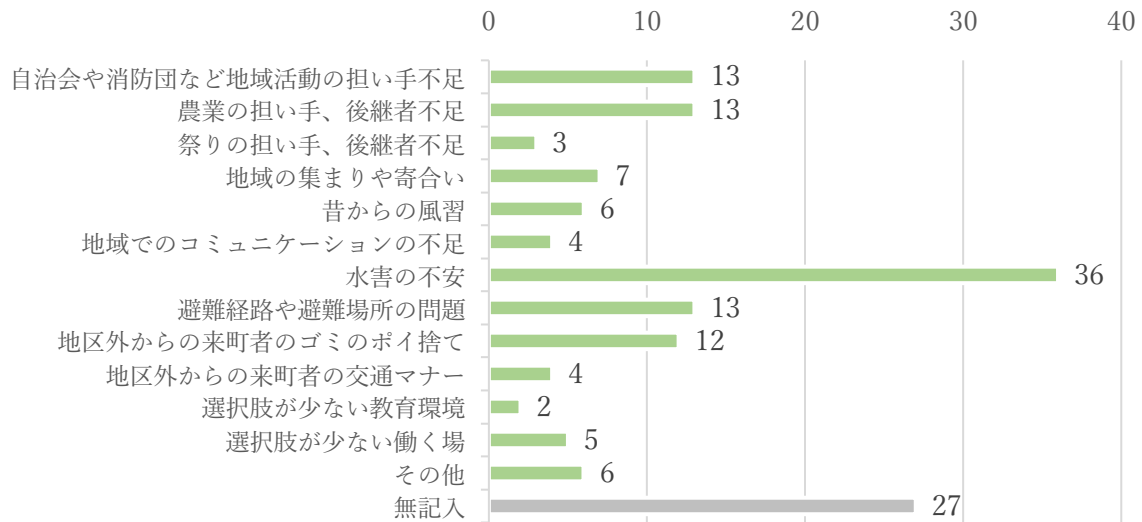


経験 あり : 332 名

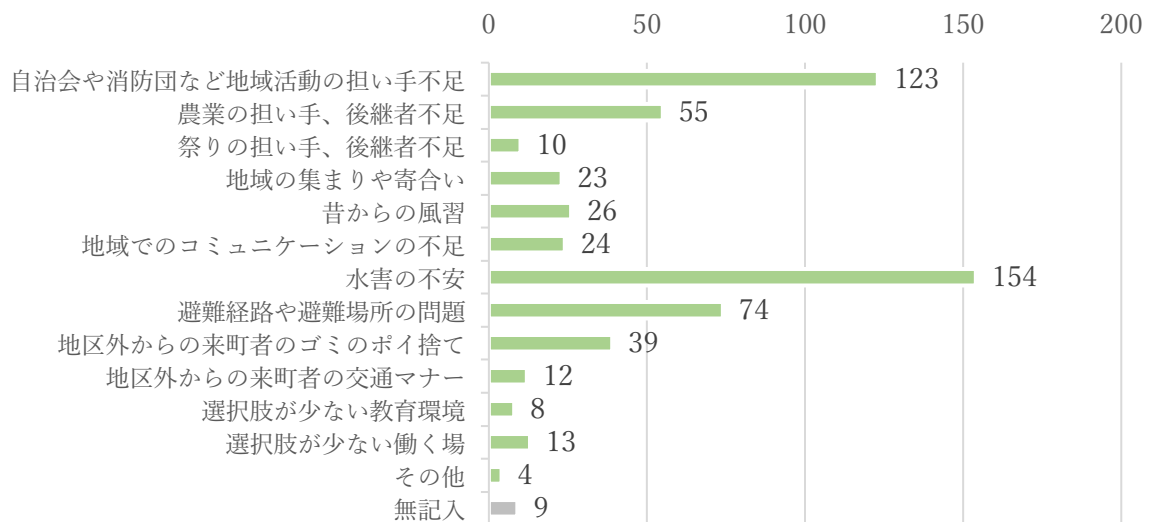


【5】生井地区の解消したい困りごと *3つ選択

経験 なし : 72 名



経験 あり : 332 名



4 | 生井地区との 地縁 での比較

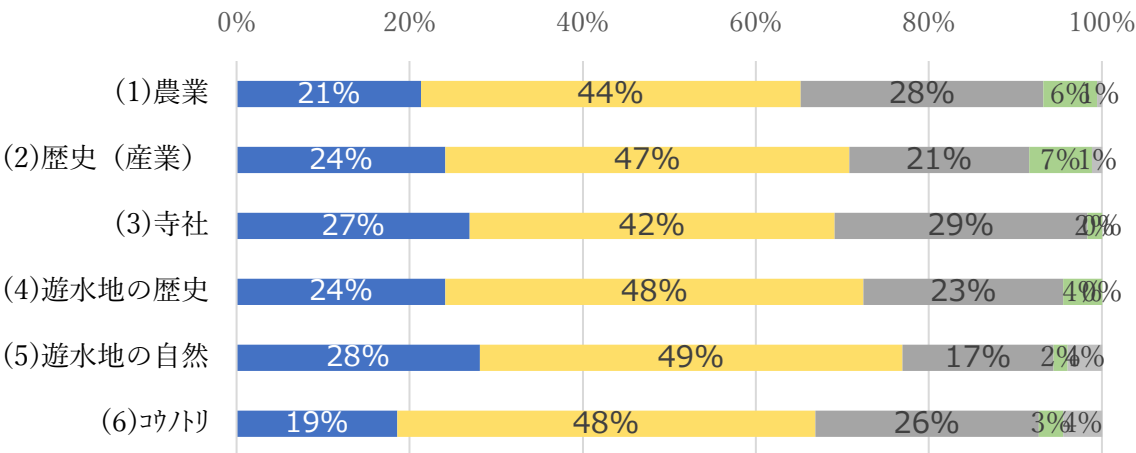
設問【1】 6 の生井地区との関わりを聞く設問で4つのグループに分けて集計を行った。

- ①生井地区で生まれ育ち一度も外で住んだことがない（178 名）
- ②生井地区で生まれ、進学や就職で一度外へ出て U ターン（87 名）
- ③小山市内の他の市町で生まれ育ち、生井に移り住んだ（37 名）
- ④小山市外（県外も）から生井に移り住んだ（75 名）

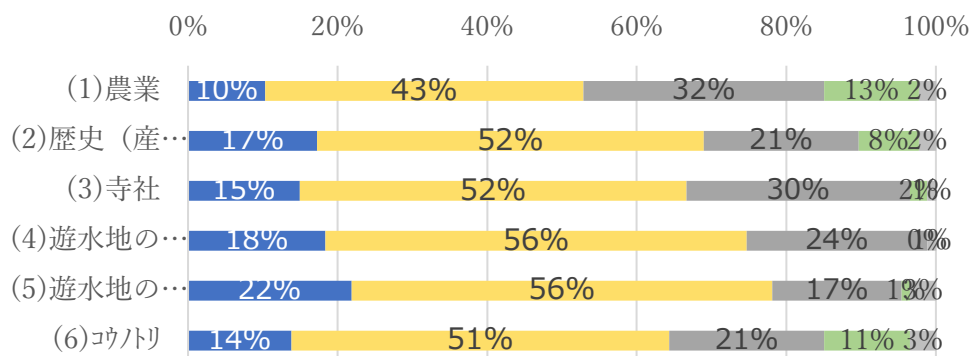
【2】 A 生井地区の歴史や地域資源についての認知度

■よく知っている・・・■まあまあ知っている・・・■あまり知らない・・・■全く知らない

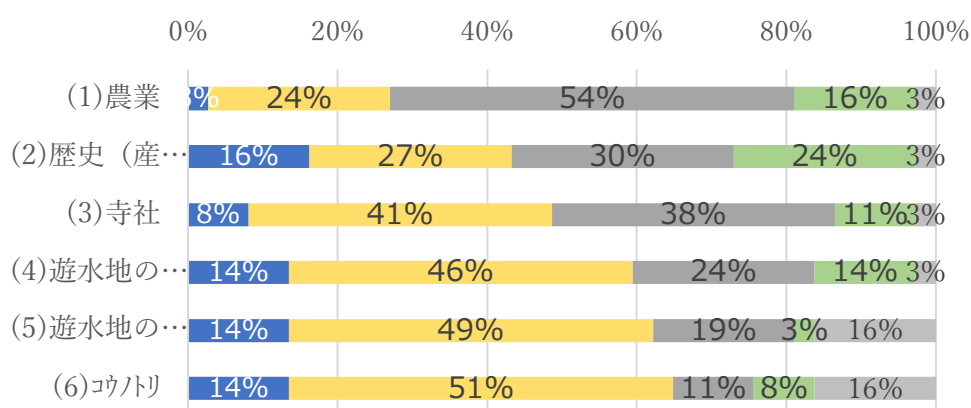
①ずっと生井：178 名



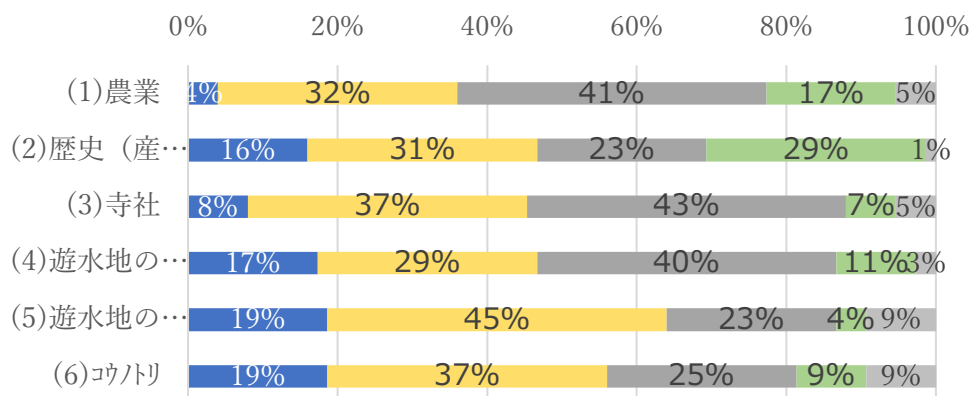
② 一度外へ出て、Uターン：87 名



③ 小山市内の他地区から：37 名



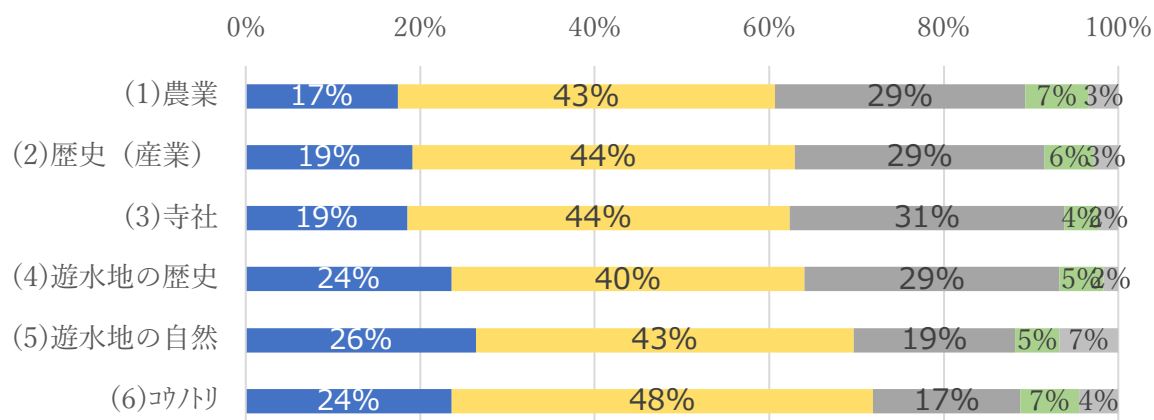
④ 小山市外・県外から：75 名



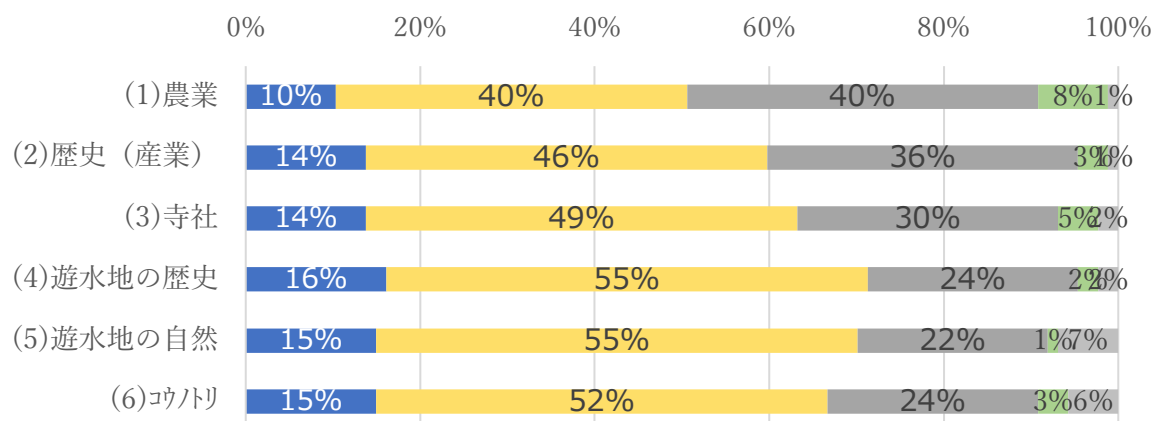
【2】B 生井地区の歴史や地域資源についての関心度

■とても関心がある・・・■まあまあ・・・■あまりない・・・■全くない

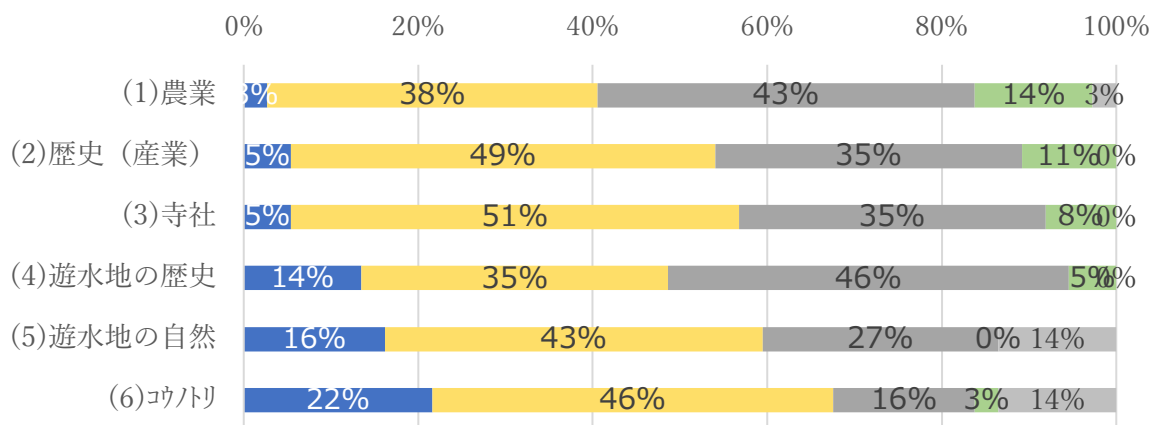
①ずっと生井：178名



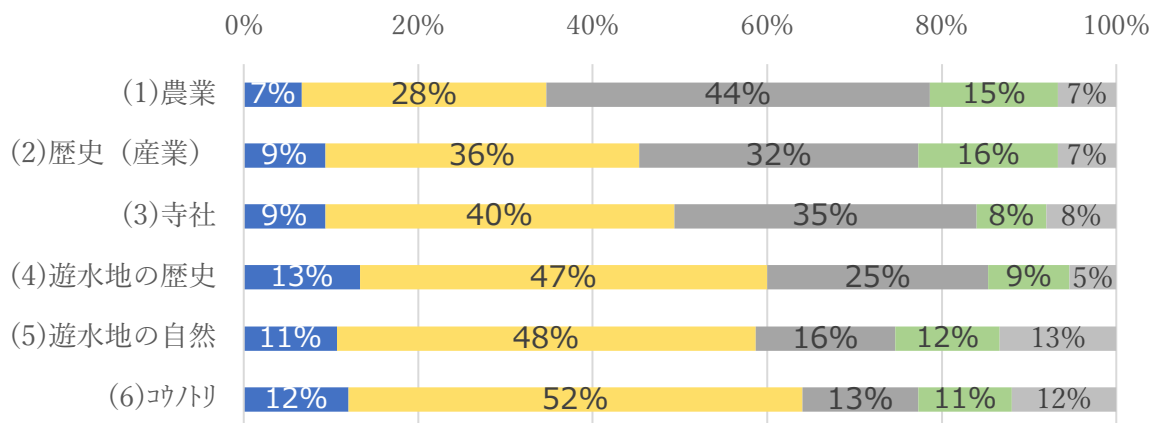
② 一度外へ出て、Uターン：87名



③ 小山市内の他地区から：37 名

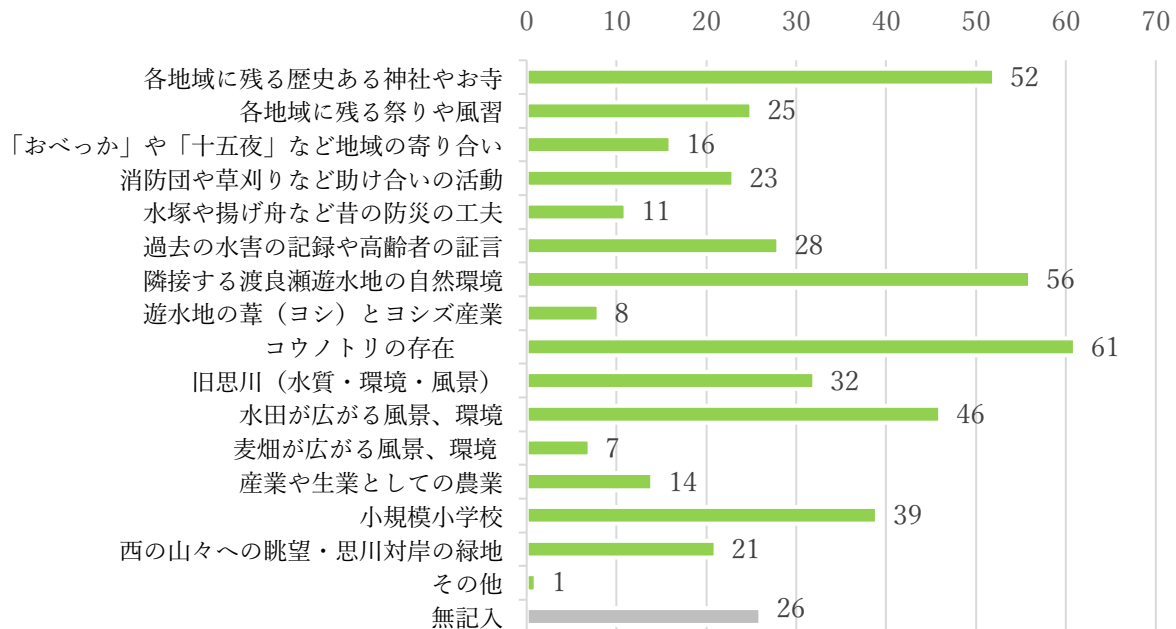


④ 小山市外・県外から：75 名

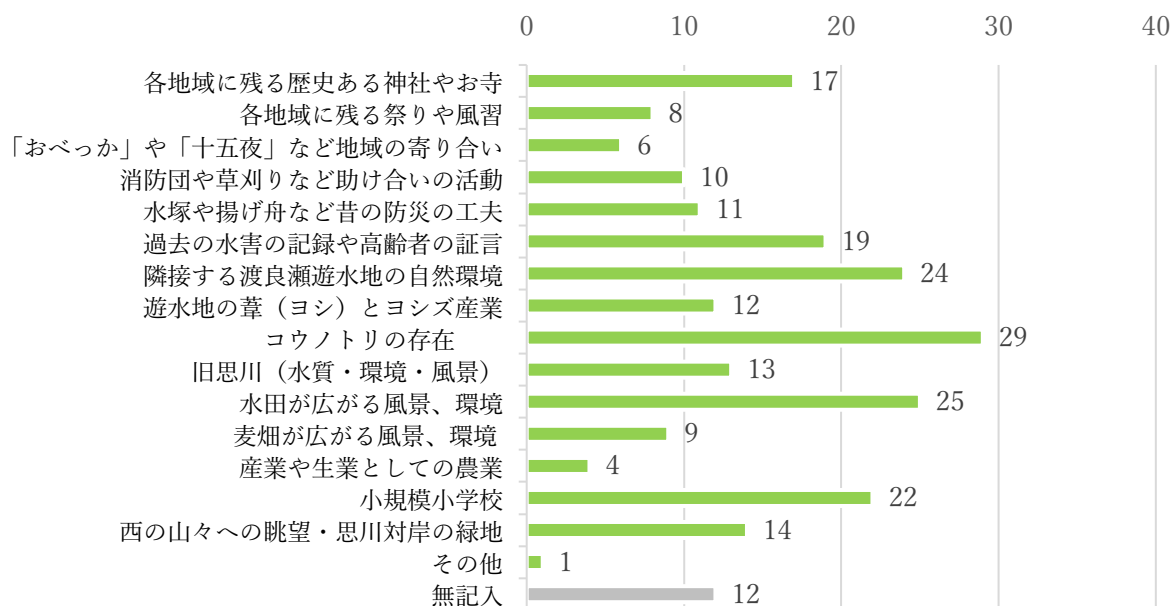


【4】 大切に守っていききたい小さな自慢 * 3つ選択

① ずっと生井 : 178 名



② 一度外へ出て、Uターン : 87 名



③ 小山市内の他地区から：37 名

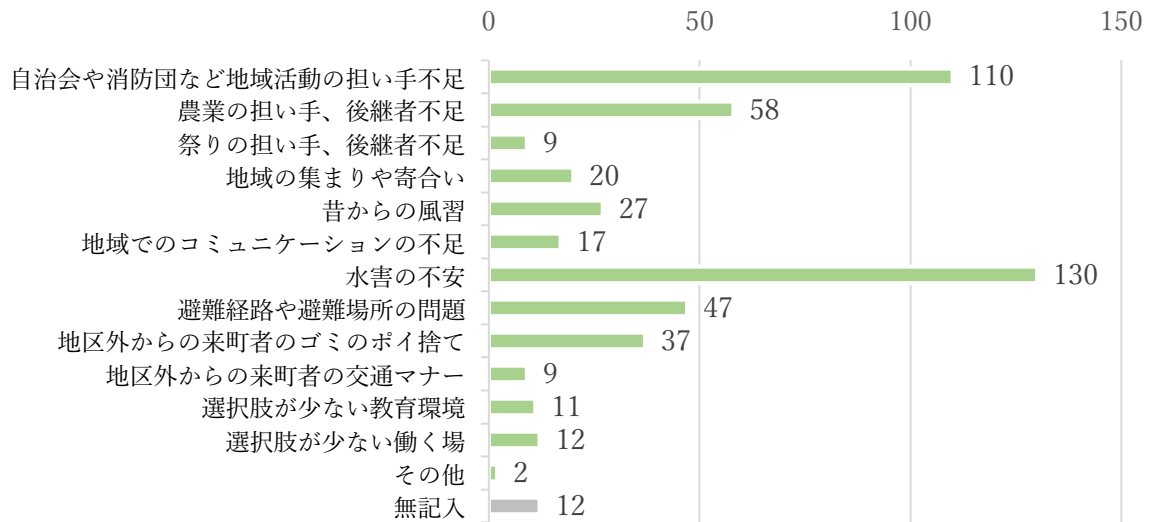


④ 小山市外・県外から：75 名

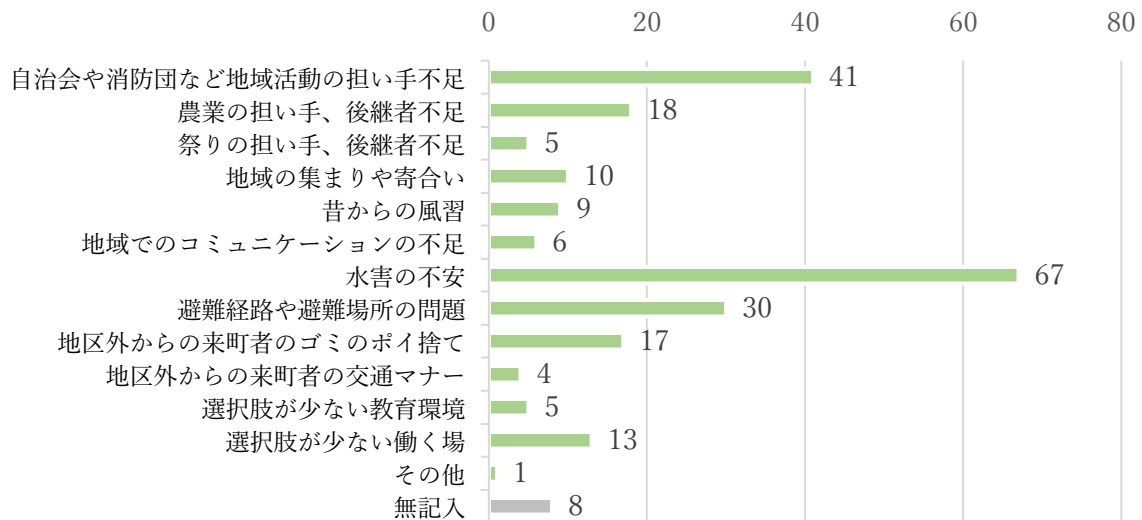


【5】生井地区の解消したい困りごと *3つ選択

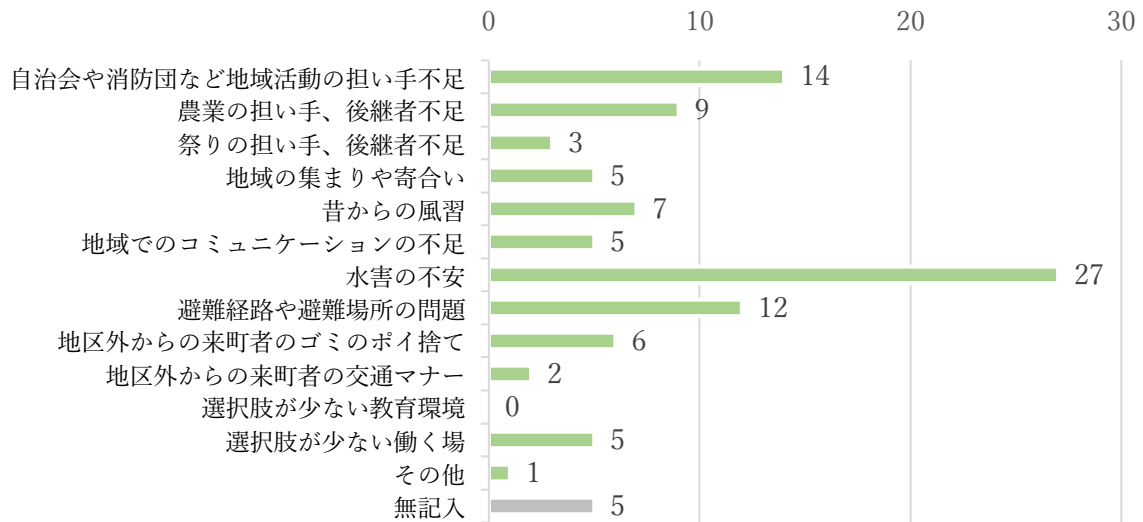
①ずっと生井：178名



② 一度外へ出て、Uターン：87名



③ 小山市内の他地区から : 37 名



④ 小山市外・県外から : 75 名

